

建築研究資料

Building Research Data

No. 156

February 2014

賃貸集合住宅の防犯に対する 女性の意識調査報告書

A Survey Report on the Female Attitude
toward the Security of Rental Apartments

樋野公宏・防犯性の高い低層賃貸住宅研究会(建築研究開発コンソーシアム)

Kimihiro Hino and the Secure Apartment Research Group
of the Consortium for Building Research & Development

独立行政法人 建築研究所

Published by
Building Research Institute
Incorporated Administrative Agency, Japan

はしがき

独立行政法人建築研究所は、建築及び都市計画に係る技術に関する調査、試験、研究及び開発並びに指導及び成果の普及等を行うことにより、建築・都市計画技術の向上を図ることを目的としています。その目的を果たすための重要課題として、安全・安心な住宅・建築・都市を実現するための研究開発に取り組んでいますが、地震や火災などに対する安全性の向上のほか、防犯や交通事故の防止など、日常の暮らしの中での安全・安心の確保に対する国民のニーズの高まりに対応した研究活動にも力を入れています。

この分野の取り組みとして、建築研究所では、平成 21,22 年度、重点的研究開発課題「防犯性向上に資するまちづくり手法の開発」を実施し、集合住宅団地における防犯改修手法検討や、防犯に配慮した新市街地形成ガイドラインの作成を行いました。その後は、研究成果を踏まえた技術の普及を行って参りましたが、その中で低層賃貸住宅の防犯性の確保が新たな問題として浮かび上がりました。このため、終了課題のフォローアップの観点から建築研究開発コンソーシアムに「防犯性の高い低層賃貸住宅研究会」の設置を提案し、平成 25 年 3 月の研究会設置以降は、民間企業や大学の研究者の参画を得て低層賃貸住宅の防犯に焦点を絞った調査・研究を主体的に行ってきました。本資料は、同研究会が同コンソーシアムの研究助成を受けて実施した賃貸集合住宅の防犯に対する女性の意識調査の結果をとりまとめ、建築研究資料として出版するものです。

本資料が低層集合住宅の計画に携わる方々の参考となり、防犯性の高い低層集合住宅の普及、ひいては安全で安心できるまちづくりにつながることを祈念します。

最後に、研究会の運営ならびに調査実施にあたってご協力いただきました建築研究開発コンソーシアムの関係各位に改めて御礼申し上げます。

平成 26 年 2 月

独立行政法人 建築研究所

理事長 坂本 雄三

賃貸集合住宅の防犯に対する女性の意識調査報告書

樋野公宏*・防犯性の高い低層賃貸住宅研究会（建築研究開発コンソーシアム）

概 要

本資料は、建築研究開発コンソーシアムに設置された「防犯性の高い低層賃貸住宅研究会」の成果のひとつであり、建築研究所が平成 21,22 年度に実施した重点的研究開発課題「防犯性向上に資するまちづくり手法の開発」のフォローアップとして位置づけられる。

低層集合住宅は、コスト重視で十分な防犯対策が施されないこともあり、他の住宅種別に比べて住宅侵入をはじめとする犯罪のリスクが高い。住宅建設業者も、建築主に対して防犯対策を勧める材料を持たない。しかし、昨今の犯罪不安の高まりを鑑みると、防犯対策に費用負担しても良いと考える入居者は少なくないはずである。犯罪不安を感じやすい女性はなおのことである。

本資料は、低層集合住宅が備えるべき防犯対策を検討するために実施した、賃貸集合住宅に対する防犯意識調査の結果を取りまとめたものである。調査は、属性の異なる 1,765 名の女性を対象として、アンケート形式で実施した。調査結果からは、防犯に対する相対的なニーズの高さ、求められる防犯対策、それに対する支払い意志額などが明らかになった。

* 独立行政法人 建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員

A Survey Report on the Female Attitude toward the Security of Rental Apartments

by

Kimihiko Hino*

and

the Secure Apartment Research Group of the Consortium for Building Research & Development

ABSTRACT

This Building Research Data is one of the outputs of the Secure Apartment Research Group established under the Consortium for Building Research & Development and is published to follow up a former R&D project “Community building to enhance crime safety” which BRI carried out in fiscal year 2009 and 2010.

There is a higher risk of crime in low-rise rental apartments than other types of housings because owners put emphasis on economy and don't provide their apartments with sufficient countermeasures for crime, while builders don't have grounds for motivating them to pay for security. However, it seems that there are not a few residents, especially women who are willing to pay for security.

This Building Research Data is a report of an attitude survey on the security of rental apartments which was carried out to consider desirable security measures. The survey was a questionnaire survey responded by 1,765 women. The result shows comparatively higher desire for crime safety, required countermeasures and the willingness to pay (WTP) for them.

* Senior Research Engineer, Department of Housing and Urban Planning, Building Research Institute

本資料は、建築研究開発コンソーシアムに設置された「防犯性の高い低層賃貸住宅研究会」の成果のひとつである。研究会で調査対象、調査項目を検討、調査を実施し、研究会主査である樋野公宏（独立行政法人建築研究所）が結果を取りまとめた。

防犯性の高い低層賃貸住宅研究会

| | |
|-------|--|
| 樋野公宏 | 独立行政法人建築研究所 住宅・都市研究グループ 主任研究員<主査> |
| 高木淳一郎 | 積水ハウス株式会社 技術部 課長 |
| 和田敬悟 | パナホーム株式会社 資産活用事業部 チーフマネージャー |
| 稲辺陽一 | パナホーム株式会社 資産活用事業部 リーダー |
| 神吉博士 | 大和ハウス工業株式会社 集合住宅事業推進部商品開発部 グループ長 |
| 鈴木正行 | 板硝子協会 調査役 |
| 瀬澤外茂幸 | 特定非営利活動法人東京都セキュリティ促進協力会 理事 |
| 相川 隆 | ミサワホーム株式会社 ミサワホーム総合研究所市場調査企画室 主幹研究員 |
| 鈴木 繁 | ミサワホーム株式会社 商品開発部第三設計課 課長 |
| 田中 賢 | 日本福祉大学 健康科学部福祉工学科 教授 |
| 関原 弦 | 株式会社フジタ 技術センター先端システム開発部 主任研究員 |
| 小島浩一 | 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー商品開発部ハイム開発部企画G 主任技術員 |
| 内海一郎 | 積水化学工業株式会社 住宅カンパニー広報・渉外部渉外担当部長 |
| 寺沢一郎 | アイホン株式会社 市場開発部担当部長 |
| 野口健世 | 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部設計部設備改修チーム 主幹 |
| 小内英高 | 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部設計部住宅改修チーム 主査 |
| 村上修一 | 独立行政法人都市再生機構 東日本賃貸住宅本部設計部ストック技術チーム 主査 |
| 須藤純二 | 足立区都市建設部建設事業調整担当課長<オブザーバ> |
| 藤井俊二 | 大成建設技術センター技師長<オブザーバ> |

(所属は平成 26 年 1 月末時点)

目次

| | | |
|-----|-----------------------------|----|
| 1 | 調査の目的と概要 | 1 |
| 1-1 | 調査目的 | 1 |
| 1-2 | 調査概要 | 2 |
| 2 | 回答者の属性 | 3 |
| 2-1 | 基本属性 | 3 |
| 2-2 | 家族構成 | 5 |
| 2-3 | 年収 | 6 |
| 2-4 | 居住地 | 8 |
| 2-5 | 住まい | 10 |
| 2-6 | 保有する車両 | 13 |
| 3 | 防犯意識と犯罪被害経験 | 15 |
| 3-1 | 日常の防犯行動 | 15 |
| 3-2 | 犯罪被害経験 | 17 |
| 3-3 | 近隣関係 | 19 |
| 4 | 住環境一般 | 21 |
| 4-1 | 子育て環境 | 21 |
| 4-2 | 住環境 | 23 |
| 4-3 | 住宅・地域の総合満足度 | 29 |
| 5 | 住まいの防犯 | 31 |
| 5-1 | 住まいの犯罪不安 | 31 |
| 5-2 | 防犯対策 | 32 |
| 5-3 | 防犯性に対する満足度 | 36 |
| 5-4 | 住まいの防犯に対する支払い意志額 | 38 |
| 6 | 特別設問 | 39 |
| 6-1 | 夏期の就寝時における窓開放について | 39 |
| 6-2 | シェア居住について | 42 |
| | 付録 | 47 |
| | ・設問一覧 | 48 |
| | ・福岡県セキュリティ・アパート認定制度に関する調査結果 | 56 |

1 調査の目的と概要

1-1 調査目的

3階建て以下の低層集合住宅（以下アパート）は、一戸建てやマンションに比べて住宅侵入をはじめとする犯罪のリスクが高い（表1-1）。この背景には、コストを重視するオーナーが防犯対策を採用せず、事業者もそれに対する説得材料を持たないという構図がある。しかし、空き巣狙いから身体犯に発展する事案の続発などを鑑みても、アパートの防犯は看過できない重要な問題である。

国の施策を見ると、「防犯に配慮した共同住宅に係る設計指針」の策定（2001年3月）、住宅性能表示制度の評価項目として「防犯に関すること」の追加（2006年4月）など、住宅の防犯に関する制度が一定程度整備されてきた。また、各都道府県単位で防犯優良（モデル）マンション認定（登録）制度が実施されている。アパートに関しては福岡県などで「セキュリティ・アパート認定制度」が始まっているが、まだ実施自治体数も認定件数も少数である。

一方、昨今の犯罪情勢を踏まえると、他の性能と比べて防犯対策に費用負担しても良いと考える入居者は少なくないはずである。とりわけ、単身女性、娘を都会で独り暮らしさせる母親、幼児の母親は防犯性を重視すると考えられる。

これらの背景から、本研究は各種属性の女性を対象とするアンケート調査を行い、防犯性の高いアパートに対するニーズを明らかにすることを目的とする。

表 1-1 建物の種類別に見た刑法犯のリスク（2008～2012年累計、10000戸当たり）

| | 戸数 | 凶悪犯 | | 粗暴犯 | 窃盗犯 | | | その他 |
|------------|------------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| | | 侵入強盗 | 強姦 | | 侵入窃盗 | 自動車盗 | 車上ねらい | 住居侵入 |
| 戸建住宅 | 27,450,200 | 0.33 | 0.23 | 9.45 | 94.32 | 3.23 | 17.89 | 14.11 |
| 共同住宅(4階建～) | 11,997,000 | 0.65 | 0.86 | 15.41 | 31.68 | 2.24 | 10.95 | 8.35 |
| 共同住宅(～3階建) | 10,017,100 | 0.70 | 1.44 | 20.85 | 98.19 | 4.26 | 21.65 | 19.98 |
| 全体 | 49,598,300 | 0.48 | 0.63 | 13.17 | 79.69 | 3.19 | 16.92 | 13.86 |

※刑法犯認知件数は警察庁「平成20年の犯罪統計」～「平成24年の犯罪統計」による。

住宅戸数は総務省「平成20年住宅・土地統計調査」による。建物の種類（4区分）のうち、「長屋建て」は全て共同住宅（3階建以下）とし、「その他」は詳細不明かつ少数のため分析から除いた。

1-2 調査概要

調査は Web 調査として 2013 年 11 月 14 日（木）～19 日（火）に実施した（株式会社インテージに委託）。標本は同社ネットモニターから表 1-1 に示す属性の 5,909 名に依頼¹し、回答者数が目標に達した時点で終了した²。最終回答数は表 1-2 の通り計 1,765 名である。

なお、女子中高生の母親は、近郊から大都市に娘を一人暮らしさせる予備軍として対象にしたものである。

表 1-2 調査対象者

| セグメント | 性別 | 婚姻 | 年齢 | 子 | 都道府県 | 都市規模 | 居住形態 |
|----------|----|----|-------|---------------|---------------------------------|---------|-------|
| 単身者 | 女性 | 未婚 | 20-34 | 無 | 京浜（一都三県） | 30 万人以上 | 賃貸集合※ |
| | | | | | 福岡県 | | |
| 幼児の母親 | | 既婚 | 指定なし | 長子が未就学児の男子・女子 | 京浜（一都三県） | 指定なし | 指定なし |
| 女子中高生の母親 | | | | | 茨城、栃木、群馬 福岡市、北九州市を除く九州（沖縄除く） | | |
| 夫婦のみ世帯 | | | 20-34 | 無 | 京浜（一都三県） | 30 万人以上 | 賃貸集合※ |

※マンション、アパート、公営を含む

表 1-3 最終回答数と略称

| 本書での略称 | | 目標数 | 回答数 | |
|--------|-------|-----|-----|-----|
| 単身者 | 単身・京浜 | 500 | 514 | 711 |
| | 単身・福岡 | 200 | 197 | |
| 幼児の母 | | 300 | 303 | |
| 中高生の母 | 中高・関東 | 200 | 217 | 434 |
| | 中高・九州 | 200 | 217 | |
| 夫婦のみ | | 300 | 317 | |

¹ 回答の偏りを避けるためマスコミ・広告・市場調査、土木・建設・不動産・建物サービスの従事者を除外した。

² セグメント単身・福岡は目標数に達する見込みがないと判断し終了した。

2 回答者の属性

2-1 基本属性

(1) 性別

回答者全員が女性である。

(2) 年齢

幼児の母は30-34歳、中高生の母は40-44歳が多い。平均年齢は、単身者、夫婦のみ、幼児の母、中高生の母の順に若く、平均年齢は33.1歳である。

表 2-1 回答者の年齢

| | セグメント (6分類) | | | | | | 合計 |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 24歳以下 | 121 23.5% | 74 37.6% | 12 4.0% | 0 .0% | 0 .0% | 9 2.8% | 216 12.2% |
| 25-29歳 | 200 38.9% | 60 30.5% | 63 20.8% | 0 .0% | 0 .0% | 116 36.6% | 439 24.9% |
| 30-34歳 | 193 37.5% | 63 32.0% | 109 36.0% | 1 .5% | 1 .5% | 192 60.6% | 559 31.7% |
| 35-39歳 | | | 70 23.1% | 39 18.0% | 27 12.4% | | 136 7.7% |
| 40-44歳 | | | 38 12.5% | 82 37.8% | 90 41.5% | | 210 11.9% |
| 45-49歳 | | | 9 3.0% | 70 32.3% | 64 29.5% | | 143 8.1% |
| 50歳以上 | | | 2 .7% | 25 11.5% | 35 16.1% | | 62 3.5% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

表 2-2 回答者の年齢の記述統計

| | 平均値 | 標準偏差 | 最小値 | 最大値 |
|----|------|------|-----|-----|
| a1 | 27.8 | 4.0 | 20 | 34 |
| a2 | 26.9 | 4.1 | 20 | 34 |
| b | 33.4 | 5.7 | 21 | 51 |
| c1 | 43.9 | 4.5 | 34 | 64 |
| c2 | 44.5 | 4.7 | 31 | 59 |
| d | 30.0 | 2.8 | 21 | 34 |
| 合計 | 33.1 | 8.0 | 20 | 64 |

(3) 職業³

単身者は会社員、幼児の母は専業主婦、中高生の母は専業主婦と派遣・パート、夫婦のみは専業主婦が多い。

表 2-3 回答者の職業

| | セグメント (6分類) | | | | | | 合計 |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 会社員 | 210 40.9% | 58 29.4% | 38 12.5% | 14 6.5% | 16 7.4% | 70 22.1% | 406 23.0% |
| 派遣・パート | 139 27.0% | 57 28.9% | 27 8.9% | 80 36.9% | 86 39.6% | 94 29.7% | 483 27.4% |
| 公務員 | 22 4.3% | 7 3.6% | 4 1.3% | 12 5.5% | 12 5.5% | 9 2.8% | 66 3.7% |
| 専門職 | 29 5.6% | 18 9.1% | 3 1.0% | 5 2.3% | 4 1.8% | 11 3.5% | 70 4.0% |
| 自営業 | 8 1.6% | 0 .0% | 14 4.6% | 18 8.3% | 13 6.0% | 6 1.9% | 59 3.3% |
| 専業主婦・無職 | 13 2.5% | 5 2.5% | 216 71.3% | 87 40.1% | 82 37.8% | 119 37.5% | 522 29.6% |
| 学生 | 83 16.1% | 46 23.4% | 0 .0% | 0 .0% | 0 .0% | 1 .3% | 130 7.4% |
| その他の職業 | 10 1.9% | 6 3.0% | 1 .3% | 1 .5% | 4 1.8% | 7 2.2% | 29 1.6% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

³ 「派遣・パート」は契約社員、アルバイト、フリーター、「公務員」は非営利団体職員、教職員講師、「自営業」は農林漁業、SOHO、内職、「その他の職業」は会社役員・経営者を含む。

2-2 家族構成

(1) 未婚

単身者は全員が未婚、その他のセグメントは全員が既婚である。

(2) 同居する子どもの人数

幼児の母は1人、中高生の母は2人が多い。

表 2-4 同居する子どもの人数

| | セグメント（6分類） | | | | | | 合計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 0人 | 514 100.0% | 197 100.0% | | | | 317 100.0% | 1028 58.2% |
| 1人 | | | 221 72.9% | 73 33.6% | 74 34.1% | | 368 20.8% |
| 2人 | | | 82 27.1% | 107 49.3% | 98 45.2% | | 287 16.3% |
| 3人 | | | 0 .0% | 31 14.3% | 40 18.4% | | 71 4.0% |
| 4人以上 | | | 0 .0% | 6 2.8% | 5 2.3% | | 11 .6% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

(3) 同居家族

幼児の母、中高生の母は夫と子どものみの核家族が多い。単身者は無し、夫婦のみは夫のみである。

表 2-5 同居する家族

| | セグメント（6分類） | | | | | | 合計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 同居無し | 514 100.0% | 197 100.0% | | | | | 711 40.3% |
| 夫 | | | 293 96.7% | 205 94.5% | 198 91.2% | 317 100.0% | 1013 57.4% |
| 子ども | | | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | | 737 41.8% |
| 父母 | | | 5 1.7% | 44 20.3% | 29 13.4% | | 78 4.4% |
| 祖父母 | | | 0 .0% | 1 .5% | 3 1.4% | | 4 .2% |
| その他 | | | 0 .0% | 0 .0% | 1 .5% | | 1 .1% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

2-3 年収

(1) 個人税込年収

単身・京浜は 300-400 万円、単身・福岡は 200-300 万円、幼児の母は 0 円、それ以外のセグメントは 0-100 万円が多い。

表 2-6 個人税込年収

| | セグメント (6分類) | | | | | | 合計 |
|---------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 0円 | 26 5.1% | 17 8.6% | 177 58.4% | 69 31.8% | 67 30.9% | 82 25.9% | 438 24.8% |
| 100万円未満 | 80 15.6% | 42 21.3% | 51 16.8% | 87 40.1% | 91 41.9% | 88 27.8% | 439 24.9% |
| 200万円未満 | 75 14.6% | 52 26.4% | 20 6.6% | 36 16.6% | 30 13.8% | 42 13.2% | 255 14.4% |
| 300万円未満 | 152 29.6% | 48 24.4% | 21 6.9% | 8 3.7% | 9 4.1% | 43 13.6% | 281 15.9% |
| 400万円未満 | 104 20.2% | 25 12.7% | 11 3.6% | 5 2.3% | 8 3.7% | 35 11.0% | 188 10.7% |
| 500万円未満 | 51 9.9% | 9 4.6% | 13 4.3% | 5 2.3% | 6 2.8% | 14 4.4% | 98 5.6% |
| 600万円未満 | 19 3.7% | 2 1.0% | 5 1.7% | 5 2.3% | 5 2.3% | 9 2.8% | 45 2.5% |
| 600万円以上 | 7 1.4% | 2 1.0% | 5 1.7% | 2 .9% | 1 .5% | 4 1.3% | 21 1.2% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

(2) 世帯税込年収

単身者は個人年収と同様、幼児の母は 400-500 万円、それ以外のセグメントは 500-600 万円が多い。

表 2-7 世帯税込年収

| | セグメント (6分類) | | | | | | 合計 |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 100万円未満 | 84 16.3% | 45 22.8% | 8 2.6% | 0 .0% | 1 .5% | 4 1.3% | 142 8.0% |
| 200万円未満 | 74 14.4% | 51 25.9% | 9 3.0% | 2 .9% | 6 2.8% | 3 .9% | 145 8.2% |
| 300万円未満 | 157 30.5% | 48 24.4% | 43 14.2% | 10 4.6% | 21 9.7% | 28 8.8% | 307 17.4% |
| 400万円未満 | 104 20.2% | 26 13.2% | 60 19.8% | 23 10.6% | 27 12.4% | 59 18.6% | 299 16.9% |
| 500万円未満 | 52 10.1% | 10 5.1% | 65 21.5% | 41 18.9% | 41 18.9% | 60 18.9% | 269 15.2% |
| 600万円未満 | 23 4.5% | 3 1.5% | 40 13.2% | 32 14.7% | 34 15.7% | 53 16.7% | 185 10.5% |
| 700万円未満 | 2 .4% | 5 2.5% | 22 7.3% | 31 14.3% | 29 13.4% | 31 9.8% | 120 6.8% |
| 800万円未満 | 5 1.0% | 3 1.5% | 14 4.6% | 21 9.7% | 26 12.0% | 30 9.5% | 99 5.6% |
| 900万円未満 | 1 .2% | 0 .0% | 5 1.7% | 13 6.0% | 7 3.2% | 13 4.1% | 39 2.2% |
| 1000万円未満 | 6 1.2% | 1 .5% | 16 5.3% | 20 9.2% | 11 5.1% | 17 5.4% | 71 4.0% |
| 1000万円以上 | 6 1.2% | 5 2.5% | 21 6.9% | 24 11.1% | 14 6.5% | 19 6.0% | 89 5.0% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

2-4 居住地

(1) 都道府県⁴

単身・京浜、幼児の母、夫婦のみは東京都、中高・関東は茨城県、中高・九州は福岡県が多い。

表 2-8 回答者の居住地

| | セグメント（6分類） | | | | | | 合計 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 茨城県 | | | | 94 43.3% | | | 94 5.3% |
| 栃木県 | | | | 67 30.9% | | | 67 3.8% |
| 群馬県 | | | | 56 25.8% | | | 56 3.2% |
| 埼玉県 | 36 7.0% | | 30 9.9% | | | 37 11.7% | 103 5.8% |
| 千葉県 | 38 7.4% | | 35 11.6% | | | 45 14.2% | 118 6.7% |
| 東京都 | 331 64.4% | | 150 49.5% | | | 149 47.0% | 630 35.7% |
| 神奈川県 | 109 21.2% | | 88 29.0% | | | 86 27.1% | 283 16.0% |
| 福岡県 | | 197 100.0% | | | 63 29.0% | | 260 14.7% |
| 佐賀県 | | | | | 10 4.6% | | 10 .6% |
| 長崎県 | | | | | 40 18.4% | | 40 2.3% |
| 熊本県 | | | | | 31 14.3% | | 31 1.8% |
| 大分県 | | | | | 26 12.0% | | 26 1.5% |
| 宮崎県 | | | | | 19 8.8% | | 19 1.1% |
| 鹿児島県 | | | | | 28 12.9% | | 28 1.6% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

⁴ 市区町村のデータもあるが本書では省略する。

(2) 居住地の印象

居住地の印象として3種類提示し、それぞれに該当するかどうか尋ねた。全体としては低層住宅地に居住する回答者が多い。

セグメント別に見ると、子どもを持つ世帯（幼児の母、中高生の母）は低層住宅地に該当すると答えた割合が高く、中高生の母は自然に囲まれた地域に該当すると答えた割合も半数を超える。一方、単身・九州の4割強、京浜在住者（単身・京浜、幼児の母、夫婦のみ）の1/4前後が高層建物の多い都心部に該当すると答えた。

表 2-9 居住地の印象

| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 合計 |
|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 一戸建てや低層の集合住宅が多い住宅地である | 658 37.3% | 550 31.2% | 273 15.5% | 284 16.1% | 1765 100% |
| 高層の建物が多いにぎやかな地域である | 109 6.2% | 313 17.7% | 562 31.8% | 781 44.2% | 1765 100% |
| 山や川などの自然に囲まれた地域である | 128 7.3% | 323 18.3% | 468 26.5% | 846 47.9% | 1765 100% |

表 2-10 セグメント別に見た居住地の印象

(「当てはまる」または「やや当てはまる」を選んだ割合)

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 一戸建てや低層の集合住宅が多い住宅地である | 64.0% | 41.6% | 73.6% | 87.6% | 82.9% | 64.4% |
| 高層の建物が多いにぎやかな地域である | 26.7% | 43.1% | 23.8% | 7.4% | 13.4% | 26.2% |
| 山や川などの自然に囲まれた地域である | 9.5% | 11.2% | 26.1% | 52.1% | 61.3% | 17.4% |

2-5 住まい

(1) 住宅形態

単身者、幼児の母、夫婦のみは賃貸マンションが最も多く、賃貸アパートがそれに次ぐ。中高生の母は持家一戸建てが多い。

表 2-11 住宅形態

| | セグメント（6分類） | | | | | | 合計 |
|------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 賃貸マンション | 306 59.5% | 132 67.0% | 165 54.5% | 7 3.2% | 15 6.9% | 201 63.4% | 826 46.8% |
| 賃貸アパート | 208 40.5% | 61 31.0% | 111 36.6% | 5 2.3% | 14 6.5% | 106 33.4% | 505 28.6% |
| 公営・公団の賃貸住宅 | 0 .0% | 4 2.0% | 27 8.9% | 3 1.4% | 10 4.6% | 10 3.2% | 54 3.1% |
| 持家一戸建て | | | | 187 86.2% | 134 61.8% | | 321 18.2% |
| 賃貸一戸建て | | | | 6 2.8% | 16 7.4% | | 22 1.2% |
| 分譲マンション | | | | 4 1.8% | 24 11.1% | | 28 1.6% |
| 寮・社宅 | | | | 5 2.3% | 4 1.8% | | 9 .5% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

(2) 居住年数

単身者、幼児の母、夫婦のみは1-3年、中高生の母は10-20年が多い。

表 2-12 居住年数

| | セグメント（6分類） | | | | | | 合計 |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | |
| 6か月未満 | 38 7.4% | 14 7.1% | 20 6.6% | 0 .0% | 4 1.8% | 28 8.8% | 104 5.9% |
| 1年未満 | 62 12.1% | 22 11.2% | 30 9.9% | 3 1.4% | 6 2.8% | 56 17.7% | 179 10.1% |
| 3年未満 | 189 36.8% | 66 33.5% | 103 34.0% | 5 2.3% | 12 5.5% | 138 43.5% | 513 29.1% |
| 5年未満 | 114 22.2% | 56 28.4% | 77 25.4% | 9 4.1% | 19 8.8% | 57 18.0% | 332 18.8% |
| 10年未満 | 87 16.9% | 26 13.2% | 64 21.1% | 55 25.3% | 55 25.3% | 33 10.4% | 320 18.1% |
| 20年未満 | 15 2.9% | 10 5.1% | 9 3.0% | 116 53.5% | 104 47.9% | 2 .6% | 256 14.5% |
| 20年以上 | 3 .6% | 2 1.0% | 0 .0% | 29 13.4% | 15 6.9% | 1 .3% | 50 2.8% |
| わからない | 6 1.2% | 1 .5% | 0 .0% | 0 .0% | 2 .9% | 2 .6% | 11 .6% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 217 100.0% | 217 100.0% | 317 100.0% | 1765 100.0% |

(3) 建物階と居住階

建物階について、単身・京浜、幼児の母は2階建て、単身・福岡は10階建て以上が多い。一方居住階については、どのセグメントも2階が多く、全体で1-3階が7割を超える。

表 2-13 建物階と居住階

| | 建物階 | | | | | 居住階 | | | | |
|-------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ | 合計 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ | 合計 |
| 1階 | 5 1.0% | 0 .0% | 6 2.0% | 3 .9% | 14 1.1% | 86 16.7% | 14 7.1% | 86 28.4% | 61 19.2% | 247 18.6% |
| 2階 | 170 33.1% | 39 19.8% | 99 32.7% | 86 27.1% | 394 29.6% | 207 40.3% | 64 32.5% | 97 32.0% | 109 34.4% | 477 35.8% |
| 3階 | 114 22.2% | 16 8.1% | 64 21.1% | 70 22.1% | 264 19.8% | 97 18.9% | 32 16.2% | 50 16.5% | 64 20.2% | 243 18.3% |
| 4階 | 46 8.9% | 24 12.2% | 23 7.6% | 37 11.7% | 130 9.8% | 48 9.3% | 23 11.7% | 20 6.6% | 30 9.5% | 121 9.1% |
| 5階 | 47 9.1% | 12 6.1% | 29 9.6% | 25 7.9% | 113 8.5% | 19 3.7% | 13 6.6% | 12 4.0% | 14 4.4% | 58 4.4% |
| 6階 | 17 3.3% | 5 2.5% | 12 4.0% | 21 6.6% | 55 4.1% | 16 3.1% | 11 5.6% | 8 2.6% | 13 4.1% | 48 3.6% |
| 7階 | 21 4.1% | 11 5.6% | 15 5.0% | 16 5.0% | 63 4.7% | 13 2.5% | 11 5.6% | 12 4.0% | 10 3.2% | 46 3.5% |
| 8階 | 16 3.1% | 15 7.6% | 7 2.3% | 12 3.8% | 50 3.8% | 5 1.0% | 9 4.6% | 4 1.3% | 2 .6% | 20 1.5% |
| 9階 | 11 2.1% | 11 5.6% | 7 2.3% | 0 .0% | 29 2.2% | 7 1.4% | 7 3.6% | 5 1.7% | 3 .9% | 22 1.7% |
| 10階以上 | 67 13.0% | 64 32.5% | 41 13.5% | 47 14.8% | 219 16.5% | 16 3.1% | 13 6.6% | 9 3.0% | 11 3.5% | 49 3.7% |
| 合計 | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 317 100.0% | 1331 100.0% | 514 100.0% | 197 100.0% | 303 100.0% | 317 100.0% | 1331 100.0% |

(4) 家賃

単身・京浜では 6-7 万円、単身・福岡では 5-6 万円、幼児の母、夫婦のみは 9-10 万円が多い⁵。

表 2-14 家賃

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ | 合計 |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 2万円未満 | 9 1.8% | 5 2.7% | 25 8.7% | 24 8.1% | 63 5.0% |
| 4万円未満 | 10 2.0% | 45 24.1% | 9 3.1% | 1 .3% | 65 5.1% |
| 5万円未満 | 35 7.0% | 62 33.2% | 4 1.4% | 1 .3% | 102 8.0% |
| 6万円未満 | 85 17.1% | 38 20.3% | 8 2.8% | 8 2.7% | 139 11.0% |
| 7万円未満 | 110 22.1% | 16 8.6% | 12 4.2% | 35 11.8% | 173 13.6% |
| 8万円未満 | 101 20.3% | 7 3.7% | 35 12.2% | 41 13.8% | 184 14.5% |
| 9万円未満 | 73 14.7% | 1 .5% | 54 18.8% | 43 14.5% | 171 13.5% |
| 10万円未満 | 25 5.0% | 1 .5% | 23 8.0% | 24 8.1% | 73 5.8% |
| 11万円未満 | 11 2.2% | 0 .0% | 27 9.4% | 28 9.4% | 66 5.2% |
| 12万円未満 | 6 1.2% | 0 .0% | 24 8.4% | 26 8.8% | 56 4.4% |
| 15万円未満 | 6 1.2% | 0 .0% | 33 11.5% | 37 12.5% | 76 6.0% |
| 20万円未満 | 4 .8% | 0 .0% | 18 6.3% | 14 4.7% | 36 2.8% |
| 20万円以上 | 23 4.6% | 12 6.4% | 15 5.2% | 15 5.1% | 65 5.1% |
| 合計 | 498 100.0% | 187 100.0% | 287 100.0% | 297 100.0% | 1269 100.0% |

なお、本調査では築年数も尋ねたが、不明が 4 割を超え、信頼性が低いため、本書への掲載は割愛する。

⁵ 千円単位の自由記述での回答を分類した。ただし「2万円未満」「20万円以上」という分類の割合が高いことから、単位を誤解した回答者が少なくなかったと推察される。

2-6 保有する車両

自動車の保有率は、単身・京浜で15%、単身・福岡で約3割、夫婦のみで約4割、幼児の母で約5割、中高生の母で9割超である。一方、自転車の保有率はどのセグメントも5割を超え、中高・関東が96%で最も高い。オートバイの保有率はどのセグメントも総じて低い。

表 2-15 保有する車両

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | 合計 |
|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 自動車 | 79 15.4% | 57 28.9% | 146 48.2% | 214 98.6% | 202 93.1% | 136 42.9% | 834 47.3% |
| オートバイ | 13 2.5% | 3 1.5% | 39 12.9% | 25 11.5% | 33 15.2% | 18 5.7% | 131 7.4% |
| 自転車 | 259 50.4% | 115 58.4% | 236 77.9% | 208 95.9% | 178 82.0% | 227 71.6% | 1223 69.3% |

3 防犯意識と犯罪被害経験

3-1 日常の防犯行動

在宅時の玄関施錠、外出時の施錠確認、自転車の施錠、来客の確認は「当てはまる」と回答した女性が6割を超える。一方、防犯ベル等の携帯、犯罪情報のチェックは1割未満である。下着の屋内干しは「当てはまる」と「当てはまらない」の回答割合がいずれも3割を超え、対応が分かっている（表3-1）。

これをセグメント別に見ると、総じて単身者、夫婦のみの行動率が高く、幼児の母、中高生の母は低い。在宅時の玄関施錠、下着の屋内干し、帰宅時の不審者確認はその差が顕著である。一方、犯罪情報のチェックは逆の傾向が見られる（表3-2）。

表3-1 日常の防犯行動

| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 合計 |
|----------------------------|---------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 在宅時でも玄関を施錠している | 1328 75.2% | 246 13.9% | 126 7.1% | 65 3.7% | 1765 100.0% |
| 外出時に窓の施錠確認をしている | 1117 63.3% | 396 22.4% | 186 10.5% | 66 3.7% | 1765 100.0% |
| 自転車を停めておく時は短時間でも施錠する | 1084 61.4% | 354 20.1% | 154 8.7% | 173 9.8% | 1765 100.0% |
| 下着を屋外に干さないようにしている | 633 35.9% | 200 11.3% | 372 21.1% | 560 31.7% | 1765 100.0% |
| 帰宅時の解錠前に、周囲に不審者がいないか確認している | 394 22.3% | 461 26.1% | 586 33.2% | 324 18.4% | 1765 100.0% |
| 個人情報に関する郵便物を破るなど処理して捨てている | 846 47.9% | 497 28.2% | 283 16.0% | 139 7.9% | 1765 100.0% |
| 外出時には防犯ベル、防犯ブザーを携帯している | 85 4.8% | 81 4.6% | 324 18.4% | 1275 72.2% | 1765 100.0% |
| 来客時に、相手を確認してからドアを開ける | 1079 61.1% | 453 25.7% | 159 9.0% | 74 4.2% | 1765 100.0% |
| 地域の犯罪発生情報をチェックしている | 170 9.6% | 415 23.5% | 651 36.9% | 529 30.0% | 1765 100.0% |
| 夜道を歩く時は、遠回りでも明るい道を選んでいる | 462 26.2% | 654 37.1% | 459 26.0% | 190 10.8% | 1765 100.0% |

表 3-2 セグメント別に見た日常の防犯行動
 (「当てはまる」または「やや当てはまる」を選んだ割合)

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 在宅時でも玄関を施錠している | 95.9% | 96.4% | 91.1% | 78.3% | 66.8% | 94.6% |
| 外出時に窓の施錠確認をしている | 85.0% | 79.7% | 84.2% | 89.4% | 82.0% | 92.1% |
| 自転車を停めておく時は短時間でも施錠する | 79.4% | 84.3% | 86.8% | 77.0% | 75.6% | 85.2% |
| 下着を屋外に干さないようにしている | 66.0% | 56.9% | 34.7% | 28.6% | 30.4% | 47.0% |
| 帰宅時の解錠前に、周囲に不審者がいないか確認している | 61.5% | 55.3% | 43.6% | 29.5% | 30.0% | 53.3% |
| 個人情報に関する郵便物を破るなど処理して捨てている | 77.6% | 66.5% | 76.2% | 73.7% | 71.4% | 84.2% |
| 外出時には防犯ベル、防犯ブザーを携帯している | 11.7% | 12.2% | 7.9% | 7.8% | 6.9% | 8.2% |
| 来客時に、相手を確認してからドアを開ける | 88.3% | 88.3% | 89.8% | 85.3% | 75.1% | 89.6% |
| 地域の犯罪発生情報をチェックしている | 21.0% | 20.8% | 32.3% | 62.2% | 51.2% | 29.0% |
| 夜道を歩く時は、遠回りでも明るい道を選んでいる | 54.3% | 61.4% | 67.3% | 74.7% | 69.6% | 62.8% |
| 平均得点※ | 6.4 | 6.2 | 6.1 | 6.1 | 5.6 | 6.5 |

※「当てはまる」「やや当てはまる」を選んだ平均項目数(10点満点)

3-2 犯罪被害経験

(1) 犯罪被害経験

被害経験率が5%を超えるところを見ると、自宅では自転車盗、どろぼう、無断侵入、下着盗、のぞき、自宅周辺では声掛け、公然わいせつ、不審者の順である(表3-3)。

これをセグメント別に見ると、単身者に対する自宅周辺での声掛け、公然わいせつ、不審者が多いことが分かる。中高生の親で無断侵入の被害率が高いのは、他のセグメントと住居形態が異なるためだと考えられる(表3-4)。

表3-3 犯罪被害経験
(自宅、自宅周辺の別に「ない」の少ない順に並べ替え)

| | | ない | ある(1年以内) | ある(1年より前) | 合計 |
|------|--------------------------|-------------|----------|------------|--------------|
| 自宅 | 自転車が盗まれた | 1422 81% | 85 5% | 258 15% | 1765 100% |
| | どろぼう(空き巣など)に入られた | 1583 90% | 27 2% | 155 9% | 1765 100% |
| | 自宅や敷地内に無断で侵入された | 1639 93% | 49 3% | 77 4% | 1765 100% |
| | 干していた下着を盗まれた | 1672 95% | 11 1% | 82 5% | 1765 100% |
| | 自宅を人にのぞかれた | 1672 95% | 35 2% | 58 3% | 1765 100% |
| | 自宅や自動車などに落書きされたり、壊されたりした | 1681 95% | 34 2% | 50 3% | 1765 100% |
| | 自動車やオートバイが盗まれた | 1704 97% | 18 1% | 43 2% | 1765 100% |
| | 自動車内の金品を盗まれた | 1711 97% | 7 0% | 47 3% | 1765 100% |
| | 郵便受内のものを盗まれた | 1724 98% | 19 1% | 22 1% | 1765 100% |
| | 自動車やオートバイの部品を盗まれた | 1729 98% | 9 1% | 27 2% | 1765 100% |
| 自宅周辺 | 不審者に声を掛けられた | 1539 87% | 89 5% | 137 8% | 1765 100% |
| | 露出などの公然わいせつにあった | 1599 91% | 28 2% | 138 8% | 1765 100% |
| | 不審者に待ち伏せられたりつきまとわれたりした | 1633 93% | 48 3% | 84 5% | 1765 100% |
| | ひったくりにあった | 1738 98% | 10 1% | 17 1% | 1765 100% |

表 3-4 セグメント別に見た 1 年以内の犯罪被害経験

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | 合計 |
|--------------------------|-------|-------|------|-------|-------|------|------|
| 自転車が盗まれた | 4.3% | 7.6% | 3.6% | 1.8% | 6.5% | 6.0% | 4.8% |
| どろぼう（空き巣など）に入られた | 1.8% | .5% | 1.7% | .9% | 1.8% | 1.9% | 1.5% |
| 自宅や敷地内に無断で侵入された | 2.1% | 1.0% | 1.7% | 7.4% | 5.1% | 1.3% | 2.8% |
| 干していた下着を盗まれた | .6% | .5% | .7% | .5% | .9% | .6% | .6% |
| 自宅を人にのぞかれた | 3.5% | 1.0% | 1.0% | 1.4% | 2.8% | .9% | 2.0% |
| 自宅や自動車などに落書きされたり、壊されたりした | 1.4% | 1.5% | 3.3% | 2.3% | .9% | 2.2% | 1.9% |
| 自動車やオートバイが盗まれた | .2% | 2.0% | 2.0% | .9% | .5% | 1.3% | 1.0% |
| 自動車内の金品を盗まれた | .2% | .5% | .3% | .5% | .9% | .3% | .4% |
| 郵便受内のものを盗まれた | 1.4% | 2.0% | .7% | .0% | .9% | 1.3% | 1.1% |
| 自動車やオートバイの部品を盗まれた | .4% | .5% | .3% | .5% | .9% | .6% | .5% |
| 不審者に声を掛けられた | 8.4% | 10.2% | 2.0% | 2.3% | 1.8% | 3.5% | 5.0% |
| 露出などの公然わいせつにあった | 2.9% | 1.5% | 1.0% | .5% | .9% | 1.3% | 1.6% |
| 不審者に待ち伏せられたりつきまとわれたりした | 5.1% | 5.6% | .3% | .9% | 1.4% | 1.6% | 2.7% |
| ひったくりにあった | .6% | .5% | 1.3% | .5% | .5% | .0% | .6% |

(2) 犯罪被害経験と住宅選択

過去の犯罪被害経験が、現住宅の選択に影響したかという質問に対し、「はい」と答えた女性が 6.3%であった。特に、単身者、幼児の母でその割合が高く、防犯に敏感な属性であると言える。

表 3-5 犯罪被害経験と住宅選択

| 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | 合計 |
|-------|-------|------|-------|-------|------|------|
| 39 | 14 | 21 | 12 | 9 | 16 | 111 |
| 7.6% | 7.1% | 6.9% | 5.5% | 4.1% | 5.0% | 6.3% |

3-3 近隣関係

(1) あいさつ・地域活動 <中高生の母除く>

同じ建物内でのあいさつは実施者が多いものの、地域との関係は総じて薄い（表 3-6）。

セグメント別に見ると、全項目で幼児の母の実施率が高いが、それでも地域活動への参加は 1 割に満たない。単身者は同じ建物内でもあいさつの実施率が 5 割程度である（表 3-6）。

表 3-6 あいさつ・地域活動

| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 合計 |
|--------------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|
| 同じ建物の居住者とあいさつをしている | 419 31.5% | 489 36.7% | 217 16.3% | 206 15.5% | 1331 100% |
| 同じ建物以外の近隣住民とあいさつをしている | 150 11.3% | 260 19.5% | 390 29.3% | 531 39.9% | 1331 100% |
| 自宅前の通路など、共用部分を掃き掃除している | 39 2.9% | 109 8.2% | 261 19.6% | 922 69.3% | 1331 100% |
| 地域の防犯活動に参加している | 10 0.8% | 43 3.2% | 215 16.2% | 1063 79.9% | 1331 100% |
| 地域のその他の活動(清掃活動など)に参加している | 18 1.4% | 43 3.2% | 184 13.8% | 1086 81.6% | 1331 100% |

表 3-7 セグメント別に見たあいさつ・地域活動

(「当てはまる」または「やや当てはまる」を選んだ割合)

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 同じ建物の居住者とあいさつをしている | 53.3% | 50.3% | 90.8% | 82.0% |
| 同じ建物以外の近隣住民とあいさつをしている | 23.0% | 14.7% | 57.8% | 27.8% |
| 自宅前の通路など、共用部分を掃き掃除している | 6.6% | 6.1% | 21.1% | 12.0% |
| 地域の防犯活動に参加している | 2.5% | 2.5% | 7.3% | 4.1% |
| 地域のその他の活動(清掃活動など)に参加している | 2.9% | 1.5% | 9.2% | 4.7% |

(2) 自治会・町内会加入

自治会・町内会への加入率は中高生の母が際だって高い。それ以外では、幼児の母が約 2 割であり、子どもが地域参加の契機になっていることが想像される。単身者、夫婦のみでは加入率が 1 割を切り、特に単身・京浜は 2.3%に過ぎない。

表 3-8 自治会・町内会加入

| 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | 合計 |
|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| 12 | 16 | 59 | 198 | 180 | 17 | 482 |
| 2.3% | 8.1% | 19.5% | 91.2% | 82.9% | 5.4% | 27.3% |

4 住環境一般

4-1 子育て環境

子育てのための住宅や環境について、12項目から重要であると思うものを順に2つ選んでもらった。1位票の最も多かったのは「住宅の広さや間取り」(31.5%)であり、次は「住宅および住宅のまわりの防犯性」(19.3%)だった。後者は2位票が最も多かったが、1位票と2位票の合計もこの順であり、他の項目を引き離れた。

1位票と2位票の合計をセグメント別に見ると、「住宅の広さや間取り」は幼児の母、「住宅および住宅のまわりの防犯性」は単身者からの得票率が高かった。

表 4-1 子育てにおいて重要な要素
(1位票と2位票の合計が多い順に並べ替え)

| | 1位 | 2位 | 1位+2位 | | | | | | |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | | | 合計 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
| 住宅の広さや間取り | 556 31.5% | 164 9.3% | 720 40.8% | 193 37.5% | 82 41.6% | 146 48.2% | 69 31.8% | 84 38.7% | 146 46.1% |
| 住宅および住宅のまわりの防犯性 | 340 19.3% | 352 19.9% | 692 39.2% | 232 45.1% | 82 41.6% | 88 29.0% | 73 33.6% | 74 34.1% | 143 45.1% |
| 安全性、遮音性など住宅の性能 | 205 11.6% | 243 13.8% | 448 25.4% | 149 29.0% | 67 34.0% | 71 23.4% | 45 20.7% | 34 15.7% | 82 25.9% |
| 幼稚園、小学校などの利便 | 182 10.3% | 189 10.7% | 371 21.0% | 80 15.6% | 32 16.2% | 63 20.8% | 80 36.9% | 83 38.2% | 33 10.4% |
| まわりの道路の歩行時の安全性 | 91 5.2% | 177 10.0% | 268 15.2% | 75 14.6% | 25 12.7% | 35 11.6% | 50 23.0% | 44 20.3% | 39 12.3% |
| 子供の遊び場、公園など | 90 5.1% | 155 8.8% | 245 13.9% | 69 13.4% | 31 15.7% | 60 19.8% | 27 12.4% | 23 10.6% | 35 11.0% |
| 小児科など医療機関の利便 | 43 2.4% | 120 6.8% | 163 9.2% | 36 7.0% | 16 8.1% | 45 14.9% | 21 9.7% | 23 10.6% | 22 6.9% |
| 近隣やコミュニティとの関わり | 74 4.2% | 86 4.9% | 160 9.1% | 48 9.3% | 13 6.6% | 13 4.3% | 30 13.8% | 37 17.1% | 19 6.0% |
| 緑、水辺などの自然環境 | 46 2.6% | 96 5.4% | 142 8.0% | 39 7.6% | 14 7.1% | 17 5.6% | 21 9.7% | 20 9.2% | 31 9.8% |
| 託児所、保育所などの利便 | 63 3.6% | 62 3.5% | 125 7.1% | 56 10.9% | 11 5.6% | 25 8.3% | 1 0.5% | 0 0.0% | 32 10.1% |
| 親や親戚の住宅との距離 | 43 2.4% | 54 3.1% | 97 5.5% | 17 3.3% | 12 6.1% | 20 6.6% | 11 5.1% | 10 4.6% | 27 8.5% |
| 子育て支援サービスの状況 | 32 1.8% | 63 3.6% | 95 5.4% | 34 6.6% | 8 4.1% | 22 7.3% | 6 2.8% | 2 0.9% | 23 7.3% |
| 不明 | 0 0.0% | 4 0.2% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 0.5% | 1 0.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 0.6% |
| 合計 | 1765 100.0% | 1765 100.0% | 3530 200.0% | 1028 200.0% | 394 200.0% | 606 200.0% | 434 200.0% | 434 200.0% | 634 200.0% |

※各列上位2項目に網掛け

<参考>

国土交通省「平成 20 年住生活総合調査」でも、子育てのために住宅や環境について重要だと思う項目を1つ尋ねている。49,804 人が回答し、最も多かったのは「住宅および住宅のまわりの防犯性」(20.0%) だった。特に、長子が成人未満の親子世帯にこの項目が選ばれた。

なお、前頁に示した設問は「平成 25 年住生活総合調査」と同一である。現時点で調査結果は発表されていないが、発表されれば本調査の結果と比較し、本調査で対象とした属性の特徴を分析することが可能である。

表 4-2 子育てにおいて重要な要素 (H20 国交省)

| | |
|--------------------|-------|
| 住宅および住宅のまわりの防犯性 | 20.0% |
| 幼稚園・小学校などの利便 | 11.7% |
| 近隣の人たちやコミュニティとの関わり | 11.0% |
| 小児科など医療機関の利便 | 9.8% |
| 住宅の広さ・間取り | 8.6% |
| まわりの道路の歩行時の安全性 | 7.8% |
| 子供の遊び場、公園など | 6.5% |
| 安全性や遮音性など住宅の居住性能 | 5.2% |
| 不明 | 5.2% |
| その他 | 5.0% |
| 託児・保育所などの利便 | 3.7% |
| 子育て支援サービスの状況 | 3.4% |
| 親や親戚の住宅との距離 | 2.0% |

4-2 住環境

(1) 住宅に対する項目別満足度 <中高生の母除く>

現在居住する住宅に関する項目別の満足度を尋ねたところ、「住宅の維持や管理のしやすさ」「居間など、主たる居住室の採光」など、賃貸住宅ならではの項目が高評価だった。一方、外部や上下階からの騒音に対する遮音性への評価は低い。

「住宅の防犯性」については、満足という回答は7.4%と少ないものの、まあ満足と合わせると半数を超える。これをセグメント別に見ると、幼児の母の評価が若干低い。

表 4-3 住宅に関する項目別の満足度
(セグメント別は「満足」または「まあ満足」を選んだ割合)

| | 満足 | まあ満足 | 多少不満 | 非常に不満 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ |
|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 住宅の広さや間取り | 16.1% | 42.1% | 32.3% | 9.5% | 59.3% | 64.5% | 46.9% | 63.4% |
| 収納の多さ、使いやすさ | 11.0% | 35.2% | 37.2% | 16.6% | 44.2% | 52.3% | 36.3% | 55.2% |
| 台所、トイレ・浴室などの使いやすさ、広さ | 12.1% | 40.6% | 35.0% | 12.3% | 53.9% | 60.4% | 38.0% | 59.9% |
| 地震時の住宅の安全性 | 5.5% | 41.8% | 42.6% | 10.1% | 48.4% | 44.7% | 40.9% | 53.0% |
| 台風時の住宅の安全性 | 8.3% | 51.4% | 33.5% | 6.8% | 61.9% | 56.9% | 54.8% | 62.5% |
| 火災時の避難の安全性 | 4.7% | 45.8% | 42.1% | 7.4% | 49.4% | 45.7% | 50.2% | 55.5% |
| 住宅の防犯性 | 7.4% | 49.1% | 35.7% | 7.7% | 58.4% | 57.9% | 49.8% | 59.3% |
| 住宅のいたみの少なさ | 13.1% | 42.9% | 33.1% | 11.0% | 60.3% | 60.9% | 45.5% | 55.8% |
| 住宅の維持や管理のしやすさ | 10.1% | 54.2% | 28.9% | 6.8% | 68.7% | 65.0% | 55.4% | 65.3% |
| 住宅の断熱性や気密性 | 7.4% | 38.3% | 40.3% | 14.0% | 46.3% | 45.2% | 40.3% | 50.5% |
| 冷暖房の省エネルギー性 | 4.9% | 34.9% | 45.3% | 15.0% | 42.0% | 41.1% | 32.3% | 42.3% |
| 高齢者などへの配慮(段差がないなど) | 3.7% | 34.0% | 44.2% | 18.2% | 40.7% | 33.5% | 33.3% | 39.4% |
| 換気性能(臭気や煙などが残らない) | 4.5% | 41.9% | 42.3% | 11.3% | 46.9% | 44.7% | 41.9% | 51.1% |
| 居間など、主たる居住室の採光 | 14.4% | 49.1% | 27.7% | 8.8% | 62.1% | 64.0% | 61.1% | 67.8% |
| 外部からの騒音に対する遮音性 | 7.8% | 34.3% | 40.2% | 17.7% | 40.7% | 36.0% | 44.2% | 46.4% |
| 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性 | 8.3% | 35.4% | 37.0% | 19.3% | 44.4% | 38.6% | 42.9% | 46.7% |
| 外部からのプライバシーの確保 | 9.2% | 52.3% | 31.3% | 7.2% | 61.7% | 59.9% | 59.1% | 64.7% |

※各セグメント上位3項目に網掛け

(2) 住環境に対する項目別満足度 <中高生の母除く>

現在居住する住宅のまわりの環境に関する項目別の満足度を尋ねたところ、「通勤、通学などの利便」「日常の買い物、医療、福祉、文化施設などの利便」の評価が高く、利便性の高い賃貸住宅が選ばれていることが分かる。一方、都市部を対象としたため、「騒音、大気汚染などの少なさ」「緑、水辺などの自然とのふれあい」に対する評価は低い。

「治安、犯罪発生の防止」については、満足という回答は7.0%と少ないものの、まあ満足と合わせると6割を超える。これをセグメント別に見ると、単身・福岡の評価が他と比べて1割程度低い。

表 4-4 住環境に関する項目別の満足度
(セグメント別は「満足」または「まあ満足」を選んだ割合)

| | 満足 | まあ満足 | 多少不満 | 非常に不満 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 災害時の避難のしやすさ | 5.4% | 52.0% | 36.6% | 6.0% | 57.4% | 48.7% | 58.1% | 62.1% |
| 津波・水害の受けにくさ | 19.4% | 52.9% | 22.2% | 5.5% | 72.6% | 67.5% | 70.0% | 77.0% |
| 火災の延焼の防止 | 4.6% | 47.5% | 40.9% | 7.0% | 52.7% | 47.2% | 48.5% | 57.4% |
| 治安、犯罪発生の防止 | 7.0% | 54.4% | 32.1% | 6.5% | 61.9% | 50.3% | 61.4% | 67.5% |
| 騒音、大気汚染などの少なさ | 6.2% | 45.2% | 36.8% | 11.8% | 51.2% | 36.0% | 53.5% | 59.3% |
| まわりの道路の歩行時の安全性 | 7.6% | 52.3% | 32.0% | 8.1% | 64.0% | 54.3% | 53.5% | 62.8% |
| 敷地やまわりのバリアフリー化の状況 | 3.8% | 41.5% | 44.3% | 10.4% | 48.8% | 38.1% | 41.9% | 47.6% |
| 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり | 11.4% | 48.2% | 32.8% | 7.7% | 56.2% | 57.4% | 62.0% | 64.0% |
| 子どもの遊び場、公園などの充実 | 9.2% | 50.6% | 32.2% | 8.0% | 58.0% | 48.2% | 70.6% | 59.6% |
| 緑、水辺などの自然とのふれあい | 7.8% | 43.6% | 38.5% | 10.1% | 49.4% | 38.1% | 60.7% | 53.9% |
| まちなみ、景観 | 9.0% | 56.8% | 28.2% | 5.9% | 65.2% | 60.9% | 69.0% | 66.9% |
| 通勤、通学などの利便 | 21.1% | 55.5% | 19.2% | 4.2% | 78.8% | 78.7% | 73.6% | 74.8% |
| 日常の買い物、医療、福祉、文化施設などの利便 | 20.1% | 55.5% | 19.7% | 4.7% | 76.3% | 75.6% | 73.9% | 76.0% |
| 福祉、介護などの生活支援サービスの状況 | 5.5% | 52.1% | 37.5% | 4.9% | 56.6% | 51.8% | 62.4% | 58.4% |
| 子育て支援サービスの状況 | 6.2% | 53.1% | 35.8% | 4.9% | 57.6% | 47.2% | 72.6% | 56.8% |
| 親、子、親せきなどの住宅との距離 | 7.6% | 44.4% | 31.6% | 16.5% | 48.8% | 52.8% | 54.1% | 54.6% |
| 近隣の人たちやコミュニティとの関わり | 4.9% | 50.3% | 37.0% | 7.7% | 52.5% | 48.2% | 62.4% | 57.1% |

※各セグメント上位3項目に網掛け

(3) 重要だと思う項目

(1) (2) で挙げた各 17 項目、計 34 項目から、最も重要だと思う項目と、続いて重要だと思う項目 (4 項目以内) を挙げてもらった。中高生の母には「長女が独り暮らしすることを想定した場合の住まい」として回答してもらった。

1 位票の最も多かったのは「治安、犯罪発生の防止」(16.3%) であり、次は「通勤、通学などの利便」(16.1%) だった。「住宅の防犯性」は 5 番目 (5.0%) で、住宅関連項目では「住宅の広さや間取り」(14.7%) に次いで 2 番目だった。

5 項目に選ばれることが最も多かったのは「住宅の広さや間取り」(46.0%) で、「治安、犯罪発生の防止」(30.1%) は 5 番目、「住宅の防犯性」(25.2%) は 7 番目だった。

5 項目に選ばれた項目をセグメント別に見ると、中高生の母では「治安、犯罪発生の防止」の得票率が最も高く、中高・九州では「住宅の防犯性」が 2 番目である (中高・関東では 3 番目)。中高生の母にとって、娘を独り暮らしさせる際の重要な項目であると言える。

表 4-5 住宅・住環境の重要だと思う項目

(1~5 位票の合計が多い順に並べ替え) (●は住宅、無印は住環境関連項目)

| | 1位 | 2-5位 | 1-5位 | | | | | | |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | 合計 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
| ●住宅の広さや間取り | 259 14.7% | 553 31.3% | 812 46.0% | 248 48.2% | 107 54.3% | 173 57.1% | 52 24.0% | 58 26.7% | 174 54.9% |
| 通勤、通学などの利便 | 285 16.1% | 391 22.2% | 676 38.3% | 220 42.8% | 96 48.7% | 71 23.4% | 99 45.6% | 86 39.6% | 104 32.8% |
| ●収納の多さ、使いやすさ | 40 2.3% | 566 32.1% | 606 34.3% | 202 39.3% | 86 43.7% | 121 39.9% | 32 14.7% | 41 18.9% | 124 39.1% |
| 日常の買い物、医療、福祉、文化施設などの利便 | 197 11.2% | 382 21.6% | 579 32.8% | 153 29.8% | 68 34.5% | 99 32.7% | 81 37.3% | 71 32.7% | 107 33.8% |
| 治安、犯罪発生の防止 | 287 16.3% | 244 13.8% | 531 30.1% | 138 26.8% | 49 24.9% | 55 18.2% | 100 46.1% | 111 51.2% | 78 24.6% |
| ●台所、トイレ・浴室などの使いやすさ、広さ | 34 1.9% | 472 26.7% | 506 28.7% | 196 38.1% | 74 37.6% | 80 26.4% | 35 16.1% | 35 16.1% | 86 27.1% |
| ●住宅の防犯性 | 88 5.0% | 357 20.2% | 445 25.2% | 111 21.6% | 41 20.8% | 45 14.9% | 84 38.7% | 94 43.3% | 70 22.1% |
| ●地震時の住宅の安全性 | 31 1.8% | 242 13.7% | 273 15.5% | 72 14.0% | 5 2.5% | 64 21.1% | 55 25.3% | 28 12.9% | 49 15.5% |
| ●外部からのプライバシーの確保 | 14 0.8% | 210 11.9% | 224 12.7% | 58 11.3% | 12 6.1% | 21 6.9% | 49 22.6% | 70 32.3% | 14 4.4% |
| ●上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性 | 32 1.8% | 190 10.8% | 222 12.6% | 94 18.3% | 27 13.7% | 33 10.9% | 13 6.0% | 18 8.3% | 37 11.7% |
| ●居間など、主たる居住室の採光 | 14 0.8% | 196 11.1% | 210 11.9% | 53 10.3% | 14 7.1% | 45 14.9% | 17 7.8% | 19 8.8% | 62 19.6% |
| まわりの道路の歩行時の安全性 | 47 2.7% | 147 8.3% | 194 11.0% | 41 8.0% | 22 11.2% | 31 10.2% | 36 16.6% | 42 19.4% | 22 6.9% |

※各列上位 3 項目に網掛け

(つづく)

(つづき)

| | | | | | | | | | |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり | 52 2.9% | 126 7.1% | 178 10.1% | 34 6.6% | 18 9.1% | 34 11.2% | 34 15.7% | 21 9.7% | 37 11.7% |
| 災害時の避難のしやすさ | 65 3.7% | 93 5.3% | 158 9.0% | 39 7.6% | 19 9.6% | 29 9.6% | 19 8.8% | 24 11.1% | 28 8.8% |
| 騒音、大気汚染などの少なさ | 49 2.8% | 104 5.9% | 153 8.7% | 38 7.4% | 21 10.7% | 19 6.3% | 19 8.8% | 17 7.8% | 39 12.3% |
| ●外部からの騒音に対する遮音性 | 9 0.5% | 124 7.0% | 133 7.5% | 55 10.7% | 22 11.2% | 13 4.3% | 10 4.6% | 8 3.7% | 25 7.9% |
| ●住宅のいたみの少なさ | 3 0.2% | 111 6.3% | 114 6.5% | 41 8.0% | 17 8.6% | 16 5.3% | 10 4.6% | 6 2.8% | 24 7.6% |
| ●住宅の断熱性や気密性 | 4 0.2% | 110 6.2% | 114 6.5% | 28 5.4% | 11 5.6% | 21 6.9% | 17 7.8% | 15 6.9% | 22 6.9% |
| ●住宅の維持や管理のしやすさ | 8 0.5% | 102 5.8% | 110 6.2% | 27 5.3% | 9 4.6% | 14 4.6% | 21 9.7% | 19 8.8% | 20 6.3% |
| 津波・水害の受けにくさ | 31 1.8% | 71 4.0% | 102 5.8% | 21 4.1% | 7 3.6% | 18 5.9% | 15 6.9% | 18 8.3% | 23 7.3% |
| 子どもの遊び場、公園などの充実 | 32 1.8% | 69 3.9% | 101 5.7% | 5 1.0% | 2 1.0% | 83 27.4% | 2 0.9% | 2 0.9% | 7 2.2% |
| 親、子、親せきなどの住宅との距離 | 26 1.5% | 75 4.2% | 101 5.7% | 12 2.3% | 5 2.5% | 37 12.2% | 17 7.8% | 11 5.1% | 19 6.0% |
| 緑、水辺などの自然とのふれあい | 38 2.2% | 60 3.4% | 98 5.6% | 24 4.7% | 4 2.0% | 22 7.3% | 16 7.4% | 10 4.6% | 22 6.9% |
| まちなみ、景観 | 26 1.5% | 70 4.0% | 96 5.4% | 35 6.8% | 20 10.2% | 10 3.3% | 4 1.8% | 3 1.4% | 24 7.6% |
| 近隣の人たちやコミュニティとの関わり | 49 2.8% | 45 2.5% | 94 5.3% | 19 3.7% | 4 2.0% | 19 6.3% | 19 8.8% | 26 12.0% | 7 2.2% |
| ●火災時の避難の安全性 | 6 0.3% | 74 4.2% | 80 4.5% | 19 3.7% | 3 1.5% | 11 3.6% | 15 6.9% | 19 8.8% | 13 4.1% |
| ●台風時の住宅の安全性 | 1 0.1% | 70 4.0% | 71 4.0% | 17 3.3% | 3 1.5% | 12 4.0% | 11 5.1% | 18 8.3% | 10 3.2% |
| ●冷暖房の省エネルギー性 | 4 0.2% | 53 3.0% | 57 3.2% | 21 4.1% | 7 3.6% | 8 2.6% | 5 2.3% | 7 3.2% | 9 2.8% |
| 子育て支援サービスの状況 | 16 0.9% | 41 2.3% | 57 3.2% | 10 1.9% | 0 0.0% | 30 9.9% | 4 1.8% | 1 0.5% | 12 3.8% |
| ●換気性能（臭気や煙などが残らない） | 3 0.2% | 53 3.0% | 56 3.2% | 18 3.5% | 7 3.6% | 10 3.3% | 4 1.8% | 8 3.7% | 9 2.8% |
| 火災の延焼の防止 | 5 0.3% | 34 1.9% | 39 2.2% | 12 2.3% | 2 1.0% | 6 2.0% | 8 3.7% | 7 3.2% | 4 1.3% |
| 敷地やまわりのバリアフリー化の状況 | 5 0.3% | 14 0.8% | 19 1.1% | 4 0.8% | 2 1.0% | 5 1.7% | 2 0.9% | 1 0.5% | 5 1.6% |
| 福祉、介護などの生活支援サービスの状況 | 5 0.3% | 13 0.7% | 18 1.0% | 5 1.0% | 0 0.0% | 4 1.3% | 4 1.8% | 2 0.9% | 3 0.9% |
| ●高齢者などへの配慮（段差がないなど） | 0 0.0% | 13 0.7% | 13 0.7% | 2 0.4% | 0 0.0% | 3 1.0% | 3 1.4% | 3 1.4% | 2 0.6% |
| 不明 | 0 0.0% | 7 0.4% | 7 0.4% | 1 0.2% | 3 1.5% | 2 0.7% | 0 0.0% | 0 0.0% | 1 0.3% |
| 合計 | 1765 100% | 5482 311% | 7247 411% | 2073 403% | 787 399% | 1264 417% | 912 420% | 919 424% | 1292 408% |

(4) 満足度と重要度の関係 <中高生の母除く>

(1)～(3)で満足度と重要度を尋ねた34項目を、散布図で表現したのが図4-1である。各項目の満足度は「満足」または「まあ満足」を選んだ割合、重要度は5項目に選んだ回答者の割合である。

改善を要するのは重要度が高く、満足度が低い項目であり、「収納の多さ、使いやすさ」「地震時の住宅の安全性」などが該当する。一方で、重要度が高くても満足度が高い項目（通勤・通学、買い物等の利便性）は問題ない。「住宅の防犯性」は前者に近く、改善が求められていると言える。

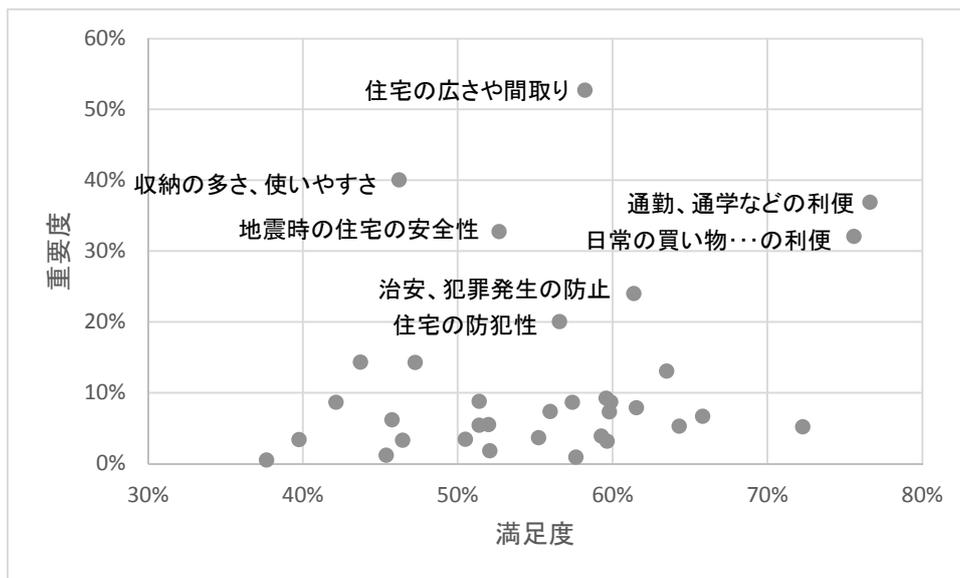


図4-1 住宅・住環境関連項目の満足度と重要度

<参考>

国土交通省「平成20年住生活総合調査」でも、住宅や住環境に関する項目別の満足度、最も重要だと思う項目を尋ねている。49,804人が回答し、30項目中最も多かったのは「火災・地震・水害などに対する安全」(15.1%)で、次点が「治安、犯罪発生の防止」(12.9%)だった。「治安、犯罪発生の防止」については、特に長子が成人未満の親子世帯に選ばれた。

なお、4-2節に示した設問は「平成25年住生活総合調査」と同一である。現時点で調査結果は発表されていないが、発表されれば本調査の結果と比較し、本調査で対象とした属性の特徴を分析することが可能である。

表 4-6 住まいにおいて最も重要と思う点 (H20 国交省)

| | |
|--------------------------|-------|
| 火災・地震・水害などに対する安全 | 15.1% |
| 治安、犯罪発生の防止 | 12.9% |
| 地震・台風時の住宅の安全性 | 12.1% |
| 日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便 | 8.6% |
| 住宅の広さや間取り | 7.0% |
| 福祉・介護等の生活支援サービスの状況 | 4.4% |
| 通勤・通学などの利便 | 3.5% |
| 住宅の防犯性 | 3.4% |
| 近隣の人たちやコミュニティとの関わり | 3.3% |
| 高齢者等への配慮(段差がないなど) | 2.5% |
| まわりの道路の歩行時の安全 | 2.5% |
| 火災時の避難の安全性 | 2.0% |
| 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり | 2.0% |
| 騒音、大気汚染などの少なさ | 1.9% |
| 台所・トイレ・浴室等の使いやすさ、広さ | 1.8% |
| 子育て支援サービスの状況 | 1.4% |
| 子供の遊び場・公園など | 1.1% |
| 居間など主たる居住室の採光 | 1.0% |
| 外部からの騒音などに対する遮音性 | 1.0% |
| 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性 | 1.0% |
| 収納の多さ、使いやすさ | 1.0% |
| 緑・水辺など自然とのふれあい | 1.0% |
| 住宅の維持や管理のしやすさ | 0.9% |
| 住宅のいたみの少なさ | 0.9% |
| 冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応 | 0.7% |
| 敷地やまわりのバリアフリー化の状況 | 0.6% |
| 親や親戚の住宅との距離 | 0.6% |
| まちなみ、景観 | 0.5% |
| 住宅の断熱性や気密性 | 0.4% |
| 換気性能(臭気や煙などの残留感がない) | 0.2% |

4-3 住宅・地域の総合満足度 <中高生の母除く>

現在居住する住宅および地域に対する総合的な満足度を尋ねたところ、いずれも7割以上が満足またはまあ満足と回答した。

セグメント別に見ると、幼児の母の住宅に対する評価が若干低い。

表 4-7 住宅・地域の総合満足度
(セグメント別は「満足」または「まあ満足」を選んだ割合)

| | 満足 | まあ満足 | やや不満 | 非常に不満 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| お住まいの住宅の総合的な満足度 | 160 12.0% | 787 59.1% | 314 23.6% | 70 5.3% | 383 74.5% | 155 78.7% | 184 60.7% | 225 71.0% |
| お住まいの地域の総合的な満足度 | 163 12.2% | 852 64.0% | 271 20.4% | 45 3.4% | 398 77.4% | 151 76.6% | 226 74.6% | 240 75.7% |

5 住まいの防犯

本章では、住まいの防犯に関する設問について低層（3階以下）と中高層（4階以上）に分けて集計、考察する。セグメント別に建物階を見ると、単身・福岡で中高層が多いが、その他は低層と中高層がほぼ半々である。

表 5-1 セグメント別に見た建物階

| | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ | 合計 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 低層 (3階建以下) | 289 56.2% | 55 27.9% | 169 55.8% | 159 50.2% | 672 50.5% |
| 中高層 (4階建以上) | 225 43.8% | 142 72.1% | 134 44.2% | 158 49.8% | 659 49.5% |
| 合計 | 514 | 197 | 303 | 317 | 1331 |

5-1 住まいの犯罪不安 <中高生の母除く>

住まい（集合住宅）において、身体に対する犯罪（ちかん、暴行など）の不安を感じやすい部位は共用出入口やエレベーターの周辺であり、約 1/3 が「不安」または「やや不安」と回答している。それらに次いで「自転車置場、オートバイ置場」が約 1/4 だった。建物階別に見ると、「エレベーター内」は低層、「自転車置場、オートバイ置場」や「ごみ置場」は中高層で不安が高い。

表 5-2 住まいの犯罪不安

| | 不安を感じる | やや不安を感じる | あまり不安を感じない | 不安を感じない | 該当箇所なし/合計 | 「不安を感じる」「やや不安を感じる」割合 | | |
|----------------|------------|--------------|--------------|--------------|-------------|----------------------|--------------|--------------|
| | | | | | | 全体 | 低層 | 中高層 |
| 共用出入口 | 78 6.3% | 309 25.0% | 530 42.9% | 319 25.8% | 95 1331 | 387 31.3% | 175 29.5% | 212 33.0% |
| 共用メールコーナー(郵便受) | 69 5.8% | 319 27.0% | 480 40.6% | 314 26.6% | 149 1331 | 388 32.8% | 175 32.3% | 213 33.2% |
| エレベーターホール | 63 7.5% | 211 25.2% | 337 40.3% | 226 27.0% | 494 1331 | 274 32.7% | 86 33.3% | 188 32.5% |
| エレベーター内 | 75 9.8% | 228 29.6% | 292 38.0% | 174 22.6% | 562 1331 | 303 39.4% | 91 44.6% | 212 37.5% |
| 共用廊下 | 40 3.4% | 228 19.5% | 562 48.2% | 337 28.9% | 164 1331 | 268 23.0% | 123 23.4% | 145 22.6% |
| 共用階段 | 55 4.5% | 255 21.0% | 549 45.2% | 356 29.3% | 116 1331 | 310 25.5% | 142 25.1% | 168 25.9% |
| 自転車置場、オートバイ置場 | 56 4.7% | 255 21.5% | 494 41.7% | 379 32.0% | 147 1331 | 311 26.3% | 133 23.7% | 178 28.6% |
| 駐車場 | 32 3.3% | 160 16.7% | 426 44.5% | 339 35.4% | 374 1331 | 192 20.1% | 82 18.7% | 110 21.2% |
| 敷地内通路 | 32 3.0% | 177 16.6% | 509 47.8% | 346 32.5% | 267 1331 | 209 19.6% | 96 19.5% | 113 19.8% |
| ゴミ置場 | 51 4.3% | 174 14.5% | 531 44.3% | 442 36.9% | 133 1331 | 225 18.8% | 93 16.3% | 132 21.1% |
| 住戸内 | 31 2.3% | 147 11.0% | 645 48.5% | 508 38.2% | 0 1331 | 178 13.4% | 95 14.1% | 83 12.6% |

※「該当箇所なし」は割合に含めず

5-2 防犯対策

(1) 防犯対策の実施状況 <中高生の母除く>

建物階別に見ると、中高層では半数以上がオートロック、約4割が出入り口部分の防犯カメラを備えるなど、共用部分の防犯対策が進んでいる。一方の低層では、ツーロック、シャッターなど窓の対策や、テレビモニター機能付きのインターホンが中高層よりも普及している。

セグメント別に見ると、(中高層居住者の多い) 単身・九州の実施割合が高いが、「浴室乾燥機または室内干しができる設備」や「近隣の防犯活動」は京浜に比べて実施割合が低い。

施錠したまま通風のできる窓シャッターや玄関扉の普及率はいずれも5%に満たない。

表 5-3 防犯対策の実施状況

| | 建物階別 | | セグメント別 | | | | 合計 | |
|-------------------|-------------------------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 低層 | 中高層 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 夫婦のみ | | |
| 共用部分 | 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置(乗り越えにくい柵や植栽など) | 13.8% | 22.9% | 18.3% | 20.3% | 18.5% | 17.0% | 18.3% |
| | オートロックなど不特定多数が入れない仕組み | 17.7% | 52.8% | 37.7% | 51.8% | 22.4% | 32.5% | 35.1% |
| | 建物出入り口部分の防犯カメラ | 6.7% | 38.4% | 19.8% | 38.1% | 19.1% | 19.9% | 22.4% |
| | エレベーター内の防犯カメラ | 1.2% | 41.9% | 17.1% | 35.5% | 21.1% | 19.6% | 21.3% |
| | エレベーター内の緊急通報ボタン | 2.1% | 41.4% | 18.1% | 32.5% | 23.4% | 18.6% | 21.6% |
| | 郵便受箱の施錠装置 | 24.4% | 51.9% | 38.7% | 46.7% | 31.4% | 37.9% | 38.0% |
| | 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス | 4.6% | 29.4% | 20.0% | 17.8% | 13.9% | 14.2% | 16.9% |
| | 共用部分の十分な照明 | 20.8% | 37.8% | 30.2% | 37.1% | 27.4% | 24.6% | 29.2% |
| | 共用部分に身を潜められる死角がないこと | 7.6% | 9.0% | 9.3% | 10.2% | 5.9% | 7.6% | 8.3% |
| | 駐車場の防犯カメラ | 2.1% | 13.5% | 5.1% | 17.3% | 8.6% | 5.4% | 7.7% |
| | 自転車やオートバイをつなぐラック | 2.7% | 5.9% | 3.9% | 5.6% | 4.6% | 3.8% | 4.3% |
| | 常駐(24時間)の管理人 | 1.3% | 4.9% | 2.9% | 5.1% | 3.0% | 2.2% | 3.1% |
| | 日勤(日中のみ)の管理人 | 1.5% | 23.2% | 12.3% | 12.2% | 10.9% | 13.6% | 12.2% |
| 専用部分 | 玄関扉のツーロック | 27.5% | 27.6% | 27.4% | 33.0% | 25.4% | 26.5% | 27.6% |
| | 窓のツーロック(補助ロック) | 16.4% | 12.9% | 13.4% | 15.7% | 14.5% | 16.1% | 14.7% |
| | 窓シャッター | 20.5% | 3.2% | 12.6% | 4.6% | 16.2% | 11.4% | 11.9% |
| | 施錠したまま通風のできる窓シャッター | 3.3% | 4.9% | 3.1% | 8.1% | 2.3% | 4.7% | 4.1% |
| | 施錠したまま通風のできる玄関扉 | 4.6% | 5.2% | 4.9% | 5.6% | 5.6% | 3.8% | 4.9% |
| | 窓の破壊を感知するセンサー | 1.2% | 0.9% | 1.2% | 0.0% | 1.3% | 1.3% | 1.1% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン(テレビモニター機能無し) | 14.6% | 29.1% | 17.9% | 23.9% | 23.4% | 25.2% | 21.8% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン(テレビモニター機能有り) | 26.3% | 22.3% | 24.7% | 26.4% | 22.4% | 24.3% | 24.3% |
| | バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト | 1.6% | 2.6% | 2.9% | 1.5% | 2.3% | 0.9% | 2.1% |
| | バルコニーのその他の侵入防止措置(柵や植栽など) | 5.2% | 4.9% | 5.3% | 2.5% | 5.6% | 5.7% | 5.0% |
| | 室内でボタンを押すと屋外(近隣)に異常を知らせる緊急通報装置 | 2.1% | 6.4% | 2.9% | 5.1% | 7.3% | 2.8% | 4.2% |
| | 警備会社のホームセキュリティ | 3.4% | 9.6% | 7.4% | 8.6% | 4.3% | 5.7% | 6.5% |
| | 浴室乾燥機または室内干しができる設備 | 16.2% | 21.2% | 22.0% | 10.2% | 16.8% | 20.5% | 18.7% |
| 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し | 6.8% | 14.0% | 11.5% | 14.2% | 9.6% | 6.9% | 10.4% | |
| 居住階が二階以上であること | 43.9% | 59.5% | 52.5% | 61.4% | 48.8% | 46.7% | 51.6% | |
| その他 | 女性限定の物件であること | 2.8% | 1.7% | 4.9% | 1.5% | 0.7% | 0.0% | 2.3% |
| | 近隣で防犯活動が行われていること | 5.1% | 3.0% | 3.7% | 1.5% | 5.9% | 4.4% | 4.1% |
| | この中にはない | 16.2% | 4.9% | 9.5% | 6.6% | 11.2% | 14.2% | 10.6% |
| 回答者数 | 672 | 659 | 514 | 197 | 303 | 317 | 1331 | |

※建物階別、セグメント別の網掛けは最も高いもの。割合は回答者数に占める割合。

(2) 防犯対策の必要性

(1) で示した防犯対策の必要性を「必要である」から「必要でない」の4段階で伺った。中高生の母には「長女が独り暮らしすることを想定した場合の住まい」として回答してもらった。

「女性限定の物件であること」などを除き、ほとんどの対策に7-9割台の高いニーズがある。

建物階別に見ると、ほぼ全ての項目で中高層居住者のニーズが高い。一方、低層居住者は施錠したまま通風の出来る玄関扉や窓シャッターのニーズが比較的高い。

表 5-4 防犯対策の必要性（単純、建物階別）

| | 必要である | どちらかという と必要 | あまり 必要で ない | 必要で ない | 建物階別 (N=1331) | | |
|---------------|---|----------------|------------------|-----------|------------------|-------|-------|
| | | | | | 低層 | 中高層 | |
| 共用部分 | 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置 (乗り越えにくい柵や植栽など) | 551 | 824 | 328 | 62 | 71.1% | 77.4% |
| | オートロックなど不特定多数が入れない仕組み | 810 | 721 | 198 | 36 | 79.2% | 90.9% |
| | 建物出入り口部分の防犯カメラ | 746 | 783 | 206 | 30 | 77.8% | 91.8% |
| | エレベーター内の防犯カメラ | 817 | 658 | 163 | 127 | 69.5% | 91.4% |
| | エレベーター内の緊急通報ボタン | 928 | 600 | 120 | 117 | 74.1% | 93.5% |
| | 郵便受箱の施錠装置 | 916 | 665 | 129 | 55 | 82.9% | 94.7% |
| | 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス | 759 | 694 | 263 | 49 | 75.1% | 86.9% |
| | 共用部分の十分な照明 | 1005 | 657 | 84 | 19 | 90.8% | 96.7% |
| | 共用部分に身を潜められる死角がないこと | 941 | 700 | 102 | 22 | 88.8% | 95.1% |
| | 駐車場の防犯カメラ | 759 | 743 | 189 | 74 | 76.0% | 88.5% |
| | 自転車やオートバイをつなぐラック | 567 | 799 | 323 | 76 | 70.7% | 77.7% |
| | 常駐（24時間）の管理人 | 395 | 700 | 531 | 139 | 47.8% | 63.7% |
| 日勤（日中のみ）の管理人 | 358 | 781 | 493 | 133 | 48.7% | 71.9% | |
| 専用部分 | 玄関扉のツーロック | 800 | 747 | 175 | 43 | 82.0% | 89.1% |
| | 窓のツーロック（補助ロック） | 686 | 802 | 241 | 36 | 80.8% | 82.5% |
| | 窓シャッター | 490 | 766 | 445 | 64 | 73.7% | 63.1% |
| | 施錠したまま通風のできる窓シャッター | 536 | 878 | 305 | 46 | 80.5% | 74.1% |
| | 施錠したまま通風のできる玄関扉 | 514 | 855 | 347 | 49 | 79.3% | 73.3% |
| | 窓の破壊を感知するセンサー | 507 | 866 | 342 | 50 | 74.0% | 76.5% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン (テレビモニター機能無し) | 740 | 743 | 206 | 76 | 78.6% | 84.5% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン (テレビモニター機能有り) | 989 | 637 | 112 | 27 | 89.3% | 93.3% |
| | バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト | 524 | 835 | 350 | 56 | 71.1% | 74.7% |
| | バルコニーのその他の侵入防止措置 (柵や植栽など) | 584 | 868 | 271 | 42 | 78.3% | 80.9% |
| | 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる 緊急通報装置 | 553 | 846 | 322 | 44 | 73.2% | 80.7% |
| | 警備会社のホームセキュリティ | 531 | 879 | 305 | 50 | 71.6% | 85.6% |
| | 浴室乾燥機または室内干しができる設備 | 662 | 862 | 203 | 38 | 84.4% | 89.4% |
| | 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し | 621 | 851 | 256 | 37 | 80.5% | 85.1% |
| 居住階が二階以上であること | 884 | 683 | 166 | 32 | 83.0% | 94.7% | |
| 他 | 女性限定の物件であること | 305 | 576 | 654 | 230 | 39.7% | 42.2% |
| | 近隣で防犯活動が行われていること | 436 | 1006 | 279 | 44 | 76.5% | 80.1% |
| 回答者数 | | | | | | 672 | 659 |

※建物階別は「必要である」または「どちらかという必要」の割合

セグメント別に見ると、いずれも中高生の母（主に中高・関東、一部中高・九州）のニーズが高い。単身者との差が顕著なのは「女性限定の物件であること」「常駐（24時間）の管理人」（いずれも約3割の差）である。「近隣の防犯活動」に対するニーズの差も大きい

表 5-5 防犯対策の必要性（セグメント別）

| | | セグメント別(N=1765) | | | | | |
|---------------|-------------------------------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
| 共用部分 | 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置（乗り越えにくい柵や植栽など） | 76.5% | 69.0% | 69.6% | 89.9% | 88.5% | 78.2% |
| | オートロックなど不特定多数が入れない仕組み | 87.0% | 84.8% | 76.6% | 93.5% | 90.8% | 89.9% |
| | 建物出入り口部分の防犯カメラ | 84.4% | 87.8% | 80.5% | 93.5% | 91.2% | 87.4% |
| | エレベーター内の防犯カメラ | 79.4% | 85.3% | 76.6% | 94.5% | 92.6% | 82.3% |
| | エレベーター内の緊急通報ボタン | 83.7% | 86.3% | 80.2% | 94.9% | 95.9% | 85.5% |
| | 郵便受箱の施錠装置 | 88.5% | 91.4% | 83.8% | 93.1% | 91.2% | 92.1% |
| | 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス | 85.8% | 80.7% | 75.2% | 88.5% | 84.3% | 78.9% |
| | 共用部分の十分な照明 | 93.2% | 94.9% | 92.4% | 95.9% | 95.4% | 95.0% |
| | 共用部分に身を潜められる死角がないこと | 91.6% | 92.4% | 90.1% | 96.3% | 95.9% | 94.0% |
| | 駐車場の防犯カメラ | 78.6% | 83.8% | 79.2% | 94.5% | 93.5% | 89.9% |
| | 自転車やオートバイをつなぐラック | 70.8% | 75.6% | 73.9% | 88.0% | 86.6% | 78.9% |
| | 常駐（24時間）の管理人 | 54.9% | 58.9% | 52.1% | 84.8% | 78.3% | 58.4% |
| | 日勤（日中のみ）の管理人 | 57.8% | 66.0% | 55.1% | 77.4% | 78.3% | 65.3% |
| 専用部分 | 玄関扉のツーロック | 81.5% | 88.3% | 86.1% | 95.4% | 93.1% | 89.6% |
| | 窓のツーロック（補助ロック） | 79.2% | 81.2% | 79.5% | 95.9% | 88.9% | 88.0% |
| | 窓シャッター | 66.3% | 60.4% | 70.3% | 85.7% | 73.3% | 75.1% |
| | 施錠したまま通風のできる窓シャッター | 73.7% | 76.1% | 81.2% | 90.8% | 86.6% | 80.1% |
| | 施錠したまま通風のできる玄関扉 | 73.0% | 72.1% | 80.2% | 82.0% | 80.6% | 80.8% |
| | 窓の破壊を感知するセンサー | 75.1% | 69.0% | 71.6% | 91.2% | 80.2% | 82.6% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能無し） | 81.9% | 77.2% | 79.9% | 93.1% | 90.3% | 85.2% |
| | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能有り） | 88.9% | 93.4% | 90.1% | 94.9% | 94.5% | 95.0% |
| | バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト | 72.8% | 66.5% | 71.0% | 94.0% | 85.3% | 78.9% |
| | バルコニーのその他の侵入防止措置（柵や植栽など） | 79.2% | 75.6% | 78.2% | 93.1% | 88.0% | 83.9% |
| | 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる緊急通報装置 | 77.4% | 76.1% | 73.9% | 89.9% | 82.9% | 79.5% |
| | 警備会社のホームセキュリティ | 78.8% | 80.2% | 71.3% | 88.9% | 79.3% | 83.9% |
| | 浴室乾燥機または室内干しができる設備 | 87.2% | 84.3% | 85.8% | 86.2% | 83.4% | 89.0% |
| | 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し | 84.8% | 85.3% | 77.9% | 84.8% | 85.7% | 82.6% |
| 居住階が二階以上であること | 90.1% | 93.9% | 83.5% | 89.4% | 88.0% | 88.6% | |
| 他 | 女性限定の物件であること | 45.7% | 50.8% | 30.0% | 79.3% | 75.6% | 37.5% |
| | 近隣で防犯活動が行われていること | 75.9% | 76.1% | 80.5% | 94.5% | 89.9% | 81.4% |
| 回答者数 | | 514 | 197 | 303 | 217 | 217 | 317 |

※「必要である」または「どちらかというとも必要」の割合

(3) 実施状況と必要性の関係 <中高生の母除く>

(1)(2) で実施状況と必要性を尋ねた 30 項目を、散布図で表現したのが図 5-1 である。各項目の必要性は「必要である」または「どちらかといえば必要」を選んだ割合である。

対策が求められるのは必要性（ニーズ）が高く、実施状況が低い項目である。必要性 75%以上、実施状況 15%以下を目安にすると下記の対策が求められていると言える。

- ・ 共用部分に身を潜められる死角がないこと（必要性 92%, 実施状況 8%）
 - ・ バルコニーのその他の侵入防止措置（柵や植栽など）（80%, 5%）
 - ・ 駐車場の防犯カメラ（82%, 8%）
 - ・ 近隣で防犯活動が行われていること（78%, 4%）
 - ・ 窓の破壊を感知するセンサー（75%, 1%）
 - ・ 施錠したまま通風のできる窓シャッター（77%, 4%）
 - ・ 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる緊急通報装置（77%, 4%）
 - ・ 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し（83%, 10%）
 - ・ 警備会社のホームセキュリティ（79%, 6%）
 - ・ 施錠したまま通風のできる玄関扉（76%, 5%）
 - ・ 窓のツーロック（補助ロック）（82%, 15%）
- （以上、必要性と実施状況の差が大きい順）

上 2 項目は設計段階からの配慮が求められる対策である。施錠したまま通風が出来る玄関扉や窓シャッターが挙げたことも特筆すべき点である。一方、近隣の防犯活動は住宅単体で可能な範囲を越えており、賃貸集合住宅の近隣関係を再考すべきと言える。

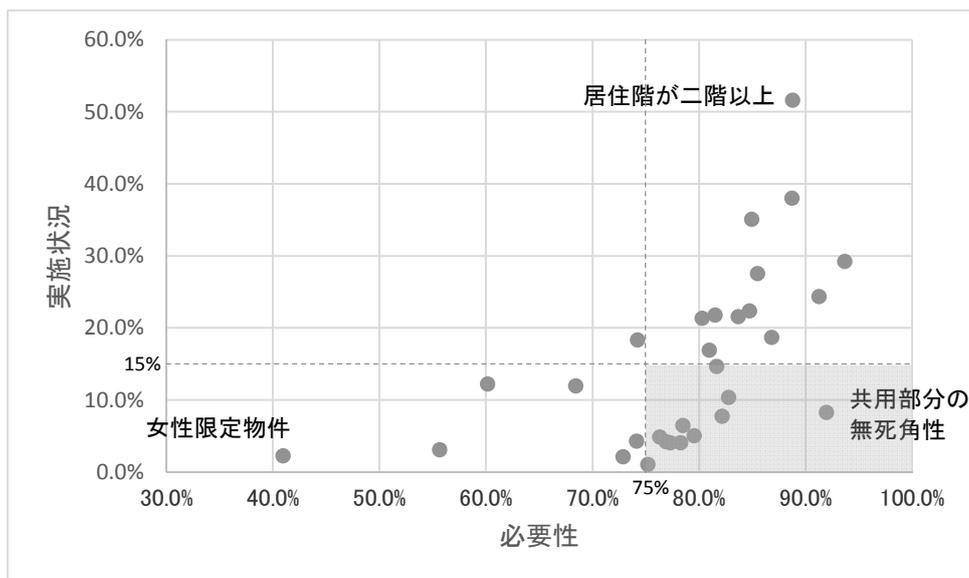


図 5-1 防犯対策の必要性（セグメント別）

5-3 防犯性に対する満足度 <中高生の母除く>

(1) 防犯性に対する満足度

共用部分および専用部分の防犯性、(防犯にも影響する) 共用部分における清掃などの管理状況に対する満足度を伺ったところ、防犯性については6割半ば、管理状況については約7割が「満足」または「まあ満足」と回答した。「不満」または「多少不満」と回答した割合を建物階別に見ると、いずれも低層が中高層より10%以上高い。5-2節で対策水準の格差が顕著だった共用部分だけでなく、専用部分でも低層賃貸居住者の満足度が低いことが分かる。

表 5-6 防犯性に対する満足度

| | 満足している | まあ満足している | 多少不満がある | 非常に不満がある | 建物階別 | | 合計 |
|--------|--------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|--------------|
| | | | | | 低層 | 中高層 | |
| 共用部分管理 | 233 17.5% | 731 54.9% | 301 22.6% | 66 5.0% | 228 33.9% | 139 21.1% | 1331 100% |
| 共用部分防犯 | 109 8.2% | 739 55.5% | 416 31.3% | 67 5.0% | 292 43.5% | 191 29.0% | 1331 100% |
| 専用部分防犯 | 108 8.1% | 780 58.6% | 386 29.0% | 57 4.3% | 267 39.7% | 176 26.7% | 1331 100% |

※建物階別は「不満」または「多少不満」の割合

(2) 防犯対策の実施状況と満足度との関係

5-2節で実施状況を紹介した各防犯対策が居住者の満足度に影響していると考えられる。そこで、各防犯対策が実施されていると満足する居住者が多いという仮説のもと、オッズ比を求めた。ここで満足度を、満足(「満足している」または「まあ満足している」)、不満(「多少不満がある」または「非常に不満がある」)の2値に整理した。なお、専用部分の防犯対策は専用部分の満足度、共用部分の防犯対策は専用部分、共用部分の両方の満足度への影響を調べた。

例えば表 5-7 の1行目は、「オートロックがあると、居住者が共用部分の防犯性に満足する可能性が3.56倍」と解釈できる。ほか、共用部分の満足度への影響が大きい対策として、自転車置き場のラック(3.16倍)、管理人(2.94倍)などが挙げられる。

一方、専用部分の満足度への影響が大きい対策には、緊急通報装置(5.34倍)、浴室乾燥機等(3.57倍)、ホームセキュリティ(2.96倍)といった専用部分の対策のほか、オートロック(4.31倍)など共用部分の対策も挙げられる。すなわち、オートロックをはじめとするこうした対策は共用、専用の両方の満足度に貢献すると言える。

表 5-7 防犯対策の実施状況と満足度との関係（オッズ比）

| | | 共用 odds比 | 専用 odds比 | 普及率 (前掲) |
|---------------------------------------|---|--------------------------------|-------------|-------------|
| 共用部分 | オートロックなど不特定多数が入れない仕組み | 3.56 | 4.31 | 35.1% |
| | 自転車やオートバイをつなぐラック | 3.16 | 3.72 | 4.3% |
| | 日勤（日中のみ）の管理人 | 2.94 | 3.08 | 12.2% |
| | 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置 （乗り越えにくい柵や植栽など） | 2.72 | 2.72 | 18.3% |
| | 駐車場の防犯カメラ | 2.51 | 2.90 | 7.7% |
| | エレベーター内の防犯カメラ | 2.47 | 2.66 | 21.3% |
| | 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス | 2.46 | 2.65 | 16.9% |
| | 共用部分の十分な照明 | 2.33 | 2.57 | 29.2% |
| | エレベーター内の緊急通報ボタン | 2.28 | 2.56 | 21.6% |
| | 郵便受箱の施錠装置 | 2.27 | 2.94 | 38.0% |
| | 共用部分に身を潜められる死角がないこと | 2.16 | 3.42 | 8.3% |
| | 建物出入り口部分の防犯カメラ | 2.12 | 2.40 | 22.4% |
| | 常駐（24時間）の管理人 | 1.23 | 1.21 | 3.1% |
| | 専用部分 | 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる緊急通報装置 | | 5.34 |
| 浴室乾燥機または室内干しができる設備 | | | 3.57 | 18.7% |
| 警備会社のホームセキュリティ | | | 2.96 | 6.5% |
| 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し | | | 2.31 | 10.4% |
| 玄関扉のツーロック | | | 2.17 | 27.6% |
| 窓のツーロック（補助ロック） | | | 2.06 | 14.7% |
| 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン （テレビモニター機能無し） | | | 2.02 | 21.8% |
| 施錠したまま通風のできる窓シャッター | | | 2.00 | 4.1% |
| 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン （テレビモニター機能有り） | | | 1.95 | 24.3% |
| バルコニーのその他の侵入防止措置 （柵や植栽など） | | | 1.94 | 5.0% |
| 施錠したまま通風のできる玄関扉 | | | 1.87 | 4.9% |
| バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト | | | 1.85 | 2.1% |
| 窓の破壊を感知するセンサー | | | 1.84 | 1.1% |
| 居住階が二階以上であること | | | 1.67 | 51.6% |
| 窓シャッター | | 1.40 | 11.9% | |
| 他 | 女性限定の物件であること | 1.58 | 1.00 | 2.3% |
| | 近隣で防犯活動が行われていること | 1.05 | 1.45 | 4.1% |

5-4 住まいの防犯に対する支払い意志額

専用部分（住戸内）および共用部分の防犯性のために月々の家賃に上乘せしても良いと考える金額を伺った。専用部分については79%、共用部分は75%の回答者に支払い意志があり、平均値※はそれぞれ3,250円、2,388円（合計5,639円）だった。合計で1万円程度支払ってよいという回答も多い。

0円と回答した割合、中央値、平均値のいずれを見ても、賃貸居住者は専用部分の優先度が高いと考えていることが分かる。

建物階別に見ると、支払い意志のある回答者の割合、平均値とも中高層が高いが大差はない。セグメント別に見ると、いずれも中高生の母（特に中高・関東）の数字が際立って大きいことが分かる。中高・関東の場合、専用部分については97%、共用部分は96%の回答者に支払い意志があり、平均値はそれぞれ5,066円、3,558円（合計8,624円）だった。

表 5-8 住まいの防犯に対する支払い意志額（単純集計）

| | 専用部分 | | 共用部分 | | 合計 | |
|---------|------|-------|------|-------|-----|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 0円 | 374 | 21.2% | 438 | 24.8% | 351 | 19.9% |
| 1,2千円 | 702 | 39.8% | 834 | 47.3% | 476 | 27.0% |
| 3,4千円 | 213 | 12.1% | 157 | 8.9% | 294 | 16.7% |
| 5,6千円 | 287 | 16.3% | 232 | 13.1% | 185 | 10.5% |
| 7,8千円 | 6 | 0.3% | 2 | 0.1% | 111 | 6.3% |
| 9,10千円 | 125 | 7.1% | 75 | 4.2% | 159 | 9.0% |
| 11-15千円 | 20 | 1.1% | 6 | 0.3% | 77 | 4.4% |
| 16-20千円 | 20 | 1.1% | 9 | 0.5% | 60 | 3.4% |
| 21千円以上 | 18 | 1.0% | 12 | 0.7% | 52 | 2.9% |
| 中央値(千円) | 2 | | 1 | | 3 | |

表 5-9 住まいの防犯に対する支払い意志額（建物階・セグメント別）

| | | 建物階別 | | セグメント別 | | | | | | |
|----------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 低層 | 中高層 | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ | 全体 |
| 支払い意志のある回答者の割合 | 専用部分 | 72.5% | 73.3% | 69.8% | 72.6% | 77.2% | 97.2% | 96.8% | 73.8% | 78.8% |
| | 共用部分 | 67.0% | 70.1% | 64.8% | 67.5% | 73.6% | 95.9% | 95.4% | 70.3% | 75.2% |
| | 合計 | 74.0% | 75.3% | 71.6% | 74.6% | 79.5% | 97.2% | 96.8% | 74.8% | 80.1% |
| 平均値※ | 専用部分 | ¥2,541 | ¥2,761 | ¥2,482 | ¥2,646 | ¥2,890 | ¥5,066 | ¥4,343 | ¥2,674 | ¥3,250 |
| | 共用部分 | ¥1,913 | ¥2,058 | ¥1,844 | ¥1,944 | ¥2,118 | ¥3,558 | ¥3,174 | ¥2,098 | ¥2,388 |
| | 合計 | ¥4,454 | ¥4,820 | ¥4,326 | ¥4,590 | ¥5,008 | ¥8,624 | ¥7,517 | ¥4,772 | ¥5,639 |

※ゼロおよび外れ値（専用+共用が0または21千円以上）を除いた1362名の平均値

6 特別設問

本章では、特別設問として質問した、夏期の就寝時における窓開放、シェア居住に関する設問について集計、考察する。

6-1 夏期の就寝時における窓開放について

(1) 窓開放の現状と意識

就寝時の窓開放については、約半数が「当てはまらない」と回答した。セグメント別に見ると、単身・福岡、中高・九州に「(やや) 当てはまる」と回答した人が多い。

窓開放のメリットとして経済性と環境性の2項目を挙げ、それぞれ同意するか伺ったところ、いずれも約7割が「(やや) 当てはまる」と回答した。セグメント別に見ると、いずれの項目も、幼児の母、中高・関東の同意率が高い。デメリットとして挙げた9項目については、虫(「当てはまる」が50%)、どろぼう(同41%)が気になるという回答が多い。セグメント別に見ると、中高・九州でどろぼうが気になる人の割合がやや低い。

表 6-1 夏期の就寝時における窓開放について

| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 幼児の母 | 中高・関東 | 中高・九州 | 夫婦のみ |
|-------------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 窓を開けたまま就寝することが多い | 152 9% | 396 22% | 394 22% | 823 47% | 147 29% | 73 37% | 92 30% | 64 29% | 81 37% | 91 29% |
| 窓を開けて就寝すると、エアコンを使わず経済的であると思う | 417 24% | 815 46% | 285 16% | 248 14% | 351 68% | 133 68% | 235 78% | 159 73% | 140 65% | 214 68% |
| 窓を開けて就寝すると、エアコンを使わず地球環境に優しいと思う | 407 23% | 911 52% | 266 15% | 181 10% | 365 71% | 143 73% | 250 83% | 174 80% | 153 71% | 233 74% |
| 窓を開けても暑くて(自分または家族が)寝苦しいのでエアコンを使う | 459 26% | 688 39% | 341 19% | 277 16% | 293 57% | 122 62% | 227 75% | 128 59% | 150 69% | 227 72% |
| 窓を開けても(自分または家族に)熱中症のおそれがあるのでエアコンを使う | 358 20% | 687 39% | 438 25% | 282 16% | 264 51% | 95 48% | 219 72% | 124 57% | 140 65% | 203 64% |
| 窓を開けたまま就寝すると、どろぼう(空き巣など)が入らないか気になる | 732 41% | 549 31% | 347 20% | 137 8% | 386 75% | 139 71% | 220 73% | 160 74% | 148 68% | 228 72% |
| 窓を開けたまま就寝すると、虫が入らないか気になる | 889 50% | 580 33% | 219 12% | 77 4% | 434 84% | 166 84% | 263 87% | 179 82% | 164 76% | 263 83% |
| 窓を開けたまま就寝すると、外からのぞかれないか気になる | 581 33% | 467 26% | 489 28% | 228 13% | 335 65% | 109 55% | 172 57% | 124 57% | 122 56% | 186 59% |
| 窓を開けたまま就寝すると、汚れた空気が入らないか気になる | 303 17% | 399 23% | 732 41% | 331 19% | 214 42% | 85 43% | 115 38% | 59 27% | 81 37% | 148 47% |
| 窓を開けたまま就寝すると、屋外の音が気になる | 543 31% | 606 34% | 435 25% | 181 10% | 347 68% | 139 71% | 197 65% | 118 54% | 121 56% | 227 72% |
| 窓を開けたまま就寝すると、屋外の光が気になる | 311 18% | 376 21% | 712 40% | 366 21% | 206 40% | 82 42% | 124 41% | 74 34% | 72 33% | 129 41% |
| 窓を開けたまま就寝すると、雨が入らないか気になる | 524 30% | 747 42% | 344 19% | 150 8% | 371 72% | 150 76% | 209 69% | 149 69% | 161 74% | 231 73% |

※セグメント別は「当てはまる」または「やや当てはまる」の割合

(2) 窓開放の行動と意識の構造

就寝時の窓開放（行動）と意識の構造を明らかにするため、共分散構造分析（構造方程式モデリング）を行った。「窓を開けたまま就寝することが多い」（窓開放就寝）を除く 11 変数の探索的因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行い、抽出された 4 因子を命名し潜在変数とした。

モデル作成にあたっては、各潜在変数間に共分散を仮定するとともに、各潜在変数が「窓を開けたまま就寝することが多い」（窓開放就寝）に影響すると仮定した。分析の結果、5%水準で有意でなかったパス、共分散を削除し、図 6-1 の推定値が得られた。適合度指標は、CFI=.963, RMSEA=.058 であり、高い適合が得られた。

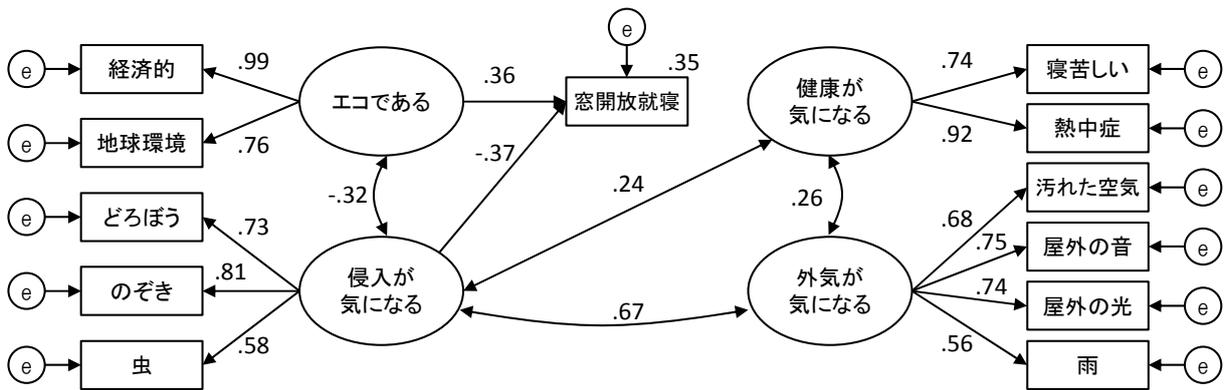


図 6-1 窓開放の行動と意識の構造

以上の結果から以下のように考察される。

- ・ 因子分析の結果から、窓開放に関する意識をエコ意識、(のぞきやどろぼうなどの) 侵入不安、外気不安（音、光など）、健康不安の 4 因子に整理した。
- ・ 窓を開けたまま就寝するかどうかは、エコ意識、侵入不安に直接影響される。前者は窓開放に正の影響 (.36)、後者は負の影響 (▲.37) を与え、影響の大きさは同程度である。
- ・ エコ意識が高いと侵入不安を感じにくい (▲.32)。
- ・ 侵入不安を感じる人は、外気不安も感じやすい (.67)。

(3) 施錠したまま通風のできる窓シャッターの可能性

(1) の設問に対する回答と、5-2 節で尋ねた、施錠したまま通風のできる窓シャッター（以下、通風窓シャッター）の有無および必要性との関係をクロス集計した。

まず、通風窓シャッターの有無と窓開放習慣との関係を見ると、通風窓シャッターの有る人では「当てはまる」の割合が高く、「当てはまらない」の割合が低い（表 6-2）。

次に、通風窓シャッターの必要性を見ると、どろぼうが入らないか気になる人の方が「必要である」または「どちらかという必要」と考える割合が高い。(2) で示した通り、犯罪不安は窓開放習慣に影響する。今後、通風窓シャッターが普及することで、夜間に窓開放できる人が増え、環境負荷低減につながる可能性がある。

表 6-2 通風窓シャッターの有無と窓開放習慣との関係

| | 窓を開けたまま就寝することが多い | | | |
|------------|------------------|---------|------------|---------|
| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない |
| 通風窓シャッター有り | 15% | 22% | 20% | 43% |
| 無し | 8% | 22% | 21% | 49% |

表 6-3 通風窓シャッターの必要性と犯罪不安

| | どろぼう（空き巣など）が気になる | | | |
|-----------|------------------|---------|------------|---------|
| | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない |
| 必要 | 37% | 26% | 23% | 27% |
| どちらかという必要 | 45% | 58% | 52% | 35% |
| あまり必要でない | 15% | 14% | 22% | 31% |
| 必要でない | 2% | 2% | 2% | 7% |

※該当は「(やや) 当てはまる」、非該当は「(あまり) 当てはまらない」

6-2 シェア居住について <幼児の母, 夫婦のみ除く>

(1) シェア居住に対する意識

シェアハウスについて「個々の部屋を確保した上で、リビングなどを共用して居住する」と説明した上で、6項目の肯定的意見、4項目の否定的意見に対して同意するかどうかを伺った。さらに単身者にはシェアハウスに住んでみたいと思うか、中高生の母には長女が独り暮らしすることを想定した場合住まわせてみたいと思うかを伺った。また、ホームシェアを「一戸建て住宅で、家主の子の独立などによって空いた部屋を借りて、家主と居住すること」と定義した上で、同様に住んでみたいか（住まわせてみたいか）を伺った。

まず肯定的意見のなかでは、「急病の時などに安心できる」「経済的に優れている」に同意する割合が高かった。いずれも単身者より中高生の母にその傾向が見られた。

否定的意見のなかでは、他の居住者との性格不一致、トラブルのリスクに同意する割合が高かった。これらも単身者より中高生の母の方にその傾向が見られた。

そして、シェアハウスに住む、あるいは住まわせることについては、各セグメントとも約3割が関心を示した。一方、ホームシェアに対しては若干低く、25%前後が関心を示した。

表 6-4 シェア居住に対する意識

| | そう思う | ややそう思う | あまりそう思わない | そう思わない | 単身・京浜 | 単身・福岡 | 中高・関東 | 中高・九州 |
|---------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 通常の一暮らしより経済的に優れている | 179 16% | 556 49% | 295 26% | 115 10% | 301 59% | 112 57% | 170 78% | 152 70% |
| 通常の一暮らしより地球環境に優しい | 89 8% | 474 41% | 472 41% | 110 10% | 235 46% | 76 39% | 138 64% | 114 53% |
| 通常の一暮らしより防犯面で安心できる | 138 12% | 523 46% | 367 32% | 117 10% | 273 53% | 98 50% | 155 71% | 135 62% |
| 通常の一暮らしより防災面で安心できる | 112 10% | 519 45% | 400 35% | 114 10% | 270 53% | 91 46% | 138 64% | 132 61% |
| 通常の一暮らしより急病などの時に安心できる | 219 19% | 684 60% | 183 16% | 59 5% | 380 74% | 140 71% | 195 90% | 188 87% |
| 立場や考え方の違う居住者と交流できて良い | 133 12% | 577 50% | 327 29% | 108 9% | 312 61% | 96 49% | 155 71% | 147 68% |
| 通常の一暮らしよりプライバシーが損なわれる | 482 42% | 471 41% | 152 13% | 40 3% | 427 83% | 147 75% | 194 89% | 185 85% |
| 通常の一暮らしより友人を連れてきづらい | 391 34% | 491 43% | 225 20% | 38 3% | 401 78% | 146 74% | 161 74% | 174 80% |
| 他の居住者と性格が合わないリスクがある | 580 51% | 421 37% | 108 9% | 36 3% | 440 86% | 155 79% | 203 94% | 203 94% |
| 他の居住者とトラブルのリスクがある | 540 47% | 468 41% | 105 9% | 32 3% | 444 86% | 160 81% | 201 93% | 203 94% |
| シェアハウスに住んでみたい/住まわせてみたいと思う | 82 7% | 283 25% | 421 37% | 359 31% | 170 33% | 57 29% | 73 34% | 65 30% |
| ホームシェアをしてみたい/させてみたいと思う | 53 5% | 235 21% | 470 41% | 387 34% | 125 24% | 45 23% | 63 29% | 55 25% |

※セグメント別は「そう思う」または「ややそう思う」の割合

(2) 年齢別に見たシェア居住に対する意識

シェアハウスやホームシェアに対する居住意向を、セグメント別、年齢別に分析したところ、いずれも、単身者は若いほど居住意向が高く、中高生の母は 40-44 歳にそのピークが見られた。24 歳以下の単身者に着目すると、シェアハウスに対しては 42%、ホームシェアに対しては 31% が関心を示した。

表 6-5 シェアハウスへの居住意向

| | | そう思う | ややそう 思う | あまりそう 思わない | そう思わ ない | 合計 |
|--------------|--------|------|------------|---------------|------------|------|
| 単身者 | 24歳以下 | 25 | 56 | 57 | 57 | 195 |
| | | 13% | 29% | 29% | 29% | 100% |
| | 25-29歳 | 23 | 58 | 86 | 93 | 260 |
| | | 9% | 22% | 33% | 36% | 100% |
| | 30-34歳 | 12 | 53 | 73 | 118 | 256 |
| | 5% | 21% | 29% | 46% | 100% | |
| | 合計 | 60 | 167 | 216 | 268 | 711 |
| | | 8% | 23% | 30% | 38% | 100% |
| 女子中高 生の母親 | 30-39歳 | 4 | 14 | 32 | 18 | 68 |
| | | 6% | 21% | 47% | 26% | 100% |
| | 40-44歳 | 10 | 52 | 67 | 43 | 172 |
| | | 6% | 30% | 39% | 25% | 100% |
| | 45-49歳 | 5 | 38 | 72 | 19 | 134 |
| | | 4% | 28% | 54% | 14% | 100% |
| | 50歳以上 | 3 | 12 | 34 | 11 | 60 |
| | | 5% | 20% | 57% | 18% | 100% |
| | 合計 | 22 | 116 | 205 | 91 | 434 |
| | | 5% | 27% | 47% | 21% | 100% |

表 6-6 ホームシェアへの居住意向

| | | そう思う | ややそう 思う | あまりそう 思わない | そう思わ ない | 合計 |
|--------------|--------|------|------------|---------------|------------|------|
| 単身者 | 24歳以下 | 14 | 46 | 67 | 68 | 195 |
| | | 7% | 24% | 34% | 35% | 100% |
| | 25-29歳 | 16 | 36 | 99 | 109 | 260 |
| | | 6% | 14% | 38% | 42% | 100% |
| | 30-34歳 | 6 | 52 | 80 | 118 | 256 |
| | 2% | 20% | 31% | 46% | 100% | |
| | 合計 | 36 | 134 | 246 | 295 | 711 |
| | | 5% | 19% | 35% | 41% | 100% |
| 女子中高 生の母親 | 30-39歳 | 4 | 10 | 39 | 15 | 68 |
| | | 6% | 15% | 57% | 22% | 100% |
| | 40-44歳 | 7 | 46 | 74 | 45 | 172 |
| | | 4% | 27% | 43% | 26% | 100% |
| | 45-49歳 | 4 | 33 | 74 | 23 | 134 |
| | | 3% | 25% | 55% | 17% | 100% |
| | 50歳以上 | 2 | 12 | 37 | 9 | 60 |
| | | 3% | 20% | 62% | 15% | 100% |
| | 合計 | 17 | 101 | 224 | 92 | 434 |
| | | 4% | 23% | 52% | 21% | 100% |

(3) シェア居住に対する意識の構造

シェア居住に対する肯定的意見、否定的意見と居住意向の構造を明らかにするため、共分散構造分析（構造方程式モデリング）を行う。表 6-7 に、シェア居住意向と各意見への回答との相関係数を示す。単身者と中高生の母を分けてみると、シェアハウス、ホームシェアとも、単身者では「居住者と交流できて良い」の影響が大きい、中高生の母では「防災」「防犯」の影響の方が大きい。このように両者には回答傾向の差があるため多母集団分析を行うこととした。

まず、肯定的、否定的意見に対応する 10 変数の探索的因子分析（最尤法、プロマックス回転）を行ったところ、「立場や考え方の違う居住者と交流できて良い」（居住者交流）の共通性が低かったため、これを除く 9 変数で同様に因子分析を行い、抽出した 3 因子を潜在変数とした。防犯、防災、急病時対応などに影響する潜在変数を「安全・安心である」、経済性（エコノミカル）、地球環境（エコロジカル）に対する意識に影響する潜在変数を「エコである」、否定的意見に影響する潜在変数を「リスクがある」と命名した。また、シェアハウス居住意向、ホームシェア居住意向に影響する潜在変数を「シェア居住意向」とした。

モデル作成にあたっては、「安全・安心」「エコ」「リスク」の各潜在変数および「居住者交流」の間に共分散を仮定するとともに、それら 4 変数が「シェア居住意向」に影響すると仮定した。分析の結果、中高生の母における「リスク」と「居住者交流」の間の共分散を除いて 5%水準で有意な推定値が得られた。パス図を図 6-2（単身者）、6-3（中高生の母）に示す。適合度指標は、CFI=.932, RMSEA=.067 であり、まずまずの適合が得られた。

表 6-7 シェア居住意向と各意見との相関係数

| | 経済的に優れている | 地球環境に優しい | 防犯面で安心できる | 防災面で安心できる | 急病などの際に安心できる | 居住者と交流できて良い | プライベートな空間が確保される | 友人を連れ回して | 性格が合わない | トラブルのり |
|------------|-----------|----------|-----------|-----------|--------------|-------------|-----------------|----------|---------|--------|
| シェアハウス居住意向 | .180 | .307 | .311 | .308 | .182 | .399 | -.072 | -.091 | -.039 | -.057 |
| | .399 | .440 | .485 | .482 | .333 | .443 | -.105 | -.062 | -.139 | -.229 |
| | .254 | .355 | .371 | .369 | .231 | .416 | -.082 | -.089 | -.063 | -.102 |
| ホームシェア居住意向 | .160 | .308 | .285 | .309 | .214 | .368 | -.016 | -.092 | -.050 | -.070 |
| | .349 | .411 | .451 | .452 | .343 | .414 | -.016 | -.032 | -.046 | -.148 |
| | .234 | .355 | .352 | .368 | .264 | .391 | -.018 | -.085 | -.043 | -.088 |

上段：単身者、中段：中高生の母、下段：両者
網掛けは絶対値が 0.35 を超えるセル

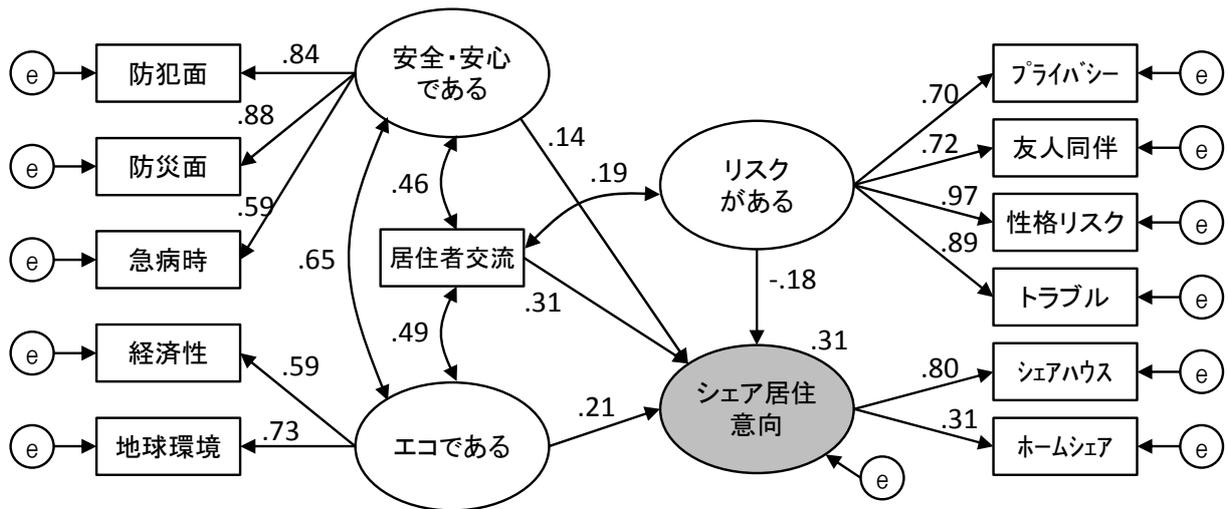


図 6-2 シェア居住に対する意識の構造（単身者）

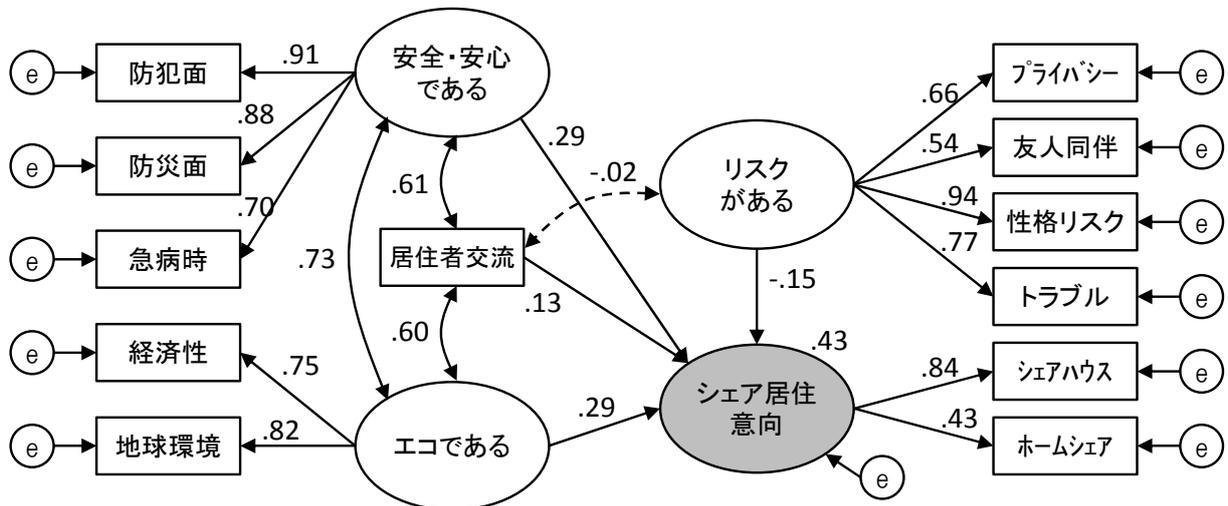


図 6-3 シェア居住に対する意識の構造（中高生の母）

※破線は有意でないパス

以上の結果から以下のように考察される。

- シェア居住意向に影響する要因として、「安全・安心」「エコ」「居住者交流」といったメリットと、「リスク」を見出した。当然ながら、メリットを感じれば居住意向は高まり、リスクを感じれば居住意向は低くなる。
- 単身者の場合、居住意向に最も影響するのは「居住者交流」(.31)である。ただし、このメリットを感じる人ほどリスクも感じている(.19)。次に影響するのは「エコ」(.21)である。
- 中高生の母の場合、居住意向に大きく影響するのは「安全・安心」と「エコ」(いずれも.29)である。「安全・安心」の影響の度合いは単身者の倍(.29と.14)であり、娘の安全を願う親心だと解される。一方、「居住者交流」の影響の度合いはは単身者と比べてかなり小さい(.13と.31)。

付録

付録1 設問一覧

(1) 登録属性項目

下記の項目は調査会社の登録属性項目を利用した

- ・ 年齢
- ・ 性別
- ・ 自宅都道府県名
- ・ 未既婚
- ・ 職業
- ・ 世帯税込年収、個人税込年収
- ・ 職業
- ・ 同居家族
- ・ 同居子供人数

(2) 回答者の属性に関する設問

○住まいに関する設問（全員）

- ・ 住宅形態（賃貸マンション／賃貸アパート／公営・公団の賃貸住宅／持家一戸建て／賃貸一戸建て／分譲マンション／寮・社宅／その他）
- ・ 居住年数（6か月未満／6か月以上～1年未満／1年以上～3年未満／3年以上～5年未満／5年以上～10年未満／10年以上～20年未満／20年以上／わからない）

（以下、中高生の母除く）

- ・ 家賃 【約 千円】（例：10万5千円→105千円）、分からない
- ・ 居住階 【 階建ての 階】
- ・ 築年数 【 年】、分からない

○以下の項目について「はい」か「いいえ」でお答えください。（全員）

- ・ 自動車を所有している
- ・ オートバイを所有している
- ・ 自転車を所有している
- ・ 過去の犯罪被害経験が、現住宅の選択に影響した
- ・ 地域の自治会、町内会などに加入している

(3) 防犯意識と犯罪被害経験に関する設問

○あなたの防犯意識、近隣関係および近隣環境について、下記項目がどの程度当てはまるか選んでください。(全員)

【当てはまる/やや当てはまる/あまり当てはまらない/当てはまらない】

<防犯意識>

- ・ 在宅時でも玄関を施錠している
- ・ 外出時に窓の施錠確認をしている
- ・ 自転車を停めておく時は短時間でも施錠する
- ・ 下着を屋外に干さないようにしている
- ・ 帰宅時の解錠前に、周囲に不審者がいないか確認している
- ・ 個人情報に関する郵便物を破るなど処理して捨てている
- ・ 外出時には防犯ベル、防犯ブザーを携帯している
- ・ 来客時に、相手を確認してからドアを開ける
- ・ 地域の犯罪発生情報をチェックしている
- ・ 夜道を歩く時は、遠回りでも明るい道を選んでる

<近隣関係>

- ・ 同じ建物の居住者とあいさつをしている
- ・ 同じ建物以外の近隣住民とあいさつをしている
- ・ 自宅前の通路など、共用部分を掃き掃除している
- ・ 地域の防犯活動に参加している
- ・ 地域のその他の活動（清掃活動など）に参加している

<近隣環境>

- ・ 一戸建てや低層の集合住宅が多い住宅地である
- ・ 高層の建物が多いにぎやかな地域である
- ・ 山や川などの自然に囲まれた地域である

○自宅またはその周辺において、あなたや同居の家族が、以下に示す犯罪の被害にあったことがありますか。(全員)

【ない/ある（1年以内）/ある（1年より前）】

<自宅>

- ・ どろぼう（空き巣など）に入られた
- ・ 自転車が盗まれた
- ・ 自動車やオートバイが盗まれた
- ・ 自動車内の金品を盗まれた
- ・ 自動車やオートバイの部品を盗まれた
- ・ 干していた下着を盗まれた
- ・ 郵便受内のものを盗まれた
- ・ 自宅を人にのぞかれた
- ・ 自宅や自動車などに落書きされたり、壊されたりした
- ・ 自宅や敷地内に無断で侵入された

<自宅周辺>

- ・ ひったくりにあった
- ・ 不審者に声を掛けられた
- ・ 不審者に待ち伏せられたりつきまとわれたりした
- ・ 露出などの公然わいせつにあった

(4) 住環境一般に関する設問

○子育てのためには、住宅や環境についてどのような点が重要だと思いますか。重要と思うものを順に2つまでお選びください。現在、子育てをされていない方も答えて下さい。(全員)

- ・ 住宅の広さや間取り
- ・ 住宅および住宅のまわりの防犯性
- ・ 安全性、遮音性など住宅の性能
- ・ 子供の遊び場、公園など
- ・ 緑、水辺などの自然環境
- ・ まわりの道路の歩行時の安全性
- ・ 託児所、保育所などの利便
- ・ 幼稚園、小学校などの利便
- ・ 小児科など医療機関の利便
- ・ 親や親戚の住宅との距離
- ・ 近隣やコミュニティとの関わり
- ・ 子育て支援サービスの状況

○現在お住まいの住宅、住宅のまわりの環境に対する項目別の満足度について、項目ごとに当てはまるもの1つを選んでください。(中高生の母以外)

【満足している・まあ満足している・多少不満がある・非常に不満がある】

<現在お住まいの住宅について>

- ・ 住宅の広さや間取り
- ・ 収納の多さ、使いやすさ
- ・ 台所、トイレ・浴室などの使いやすさ、広さ
- ・ 地震時の住宅の安全性
- ・ 台風時の住宅の安全性
- ・ 火災時の避難の安全性
- ・ 住宅の防犯性
- ・ 住宅のいたみの少なさ
- ・ 住宅の維持や管理のしやすさ
- ・ 住宅の断熱性や気密性
- ・ 冷暖房の省エネルギー性
- ・ 高齢者などへの配慮(段差がないなど)
- ・ 換気性能(臭気や煙などが残らない)
- ・ 居間など、主たる居住室の採光
- ・ 外部からの騒音に対する遮音性
- ・ 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性
- ・ 外部からのプライバシーの確保

<現在お住まいの住宅のまわりの環境について>

- ・ 災害時の避難のしやすさ
- ・ 津波・水害の受けにくさ
- ・ 火災の延焼の防止
- ・ 治安、犯罪発生の防止
- ・ 騒音、大気汚染などの少なさ
- ・ まわりの道路の歩行時の安全性
- ・ 敷地やまわりのバリアフリー化の状況
- ・ 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり
- ・ 子どもの遊び場、公園などの充実
- ・ 緑、水辺などの自然とのふれあい
- ・ まちなみ、景観

- ・ 通勤、通学などの利便
- ・ 日常の買い物、医療、福祉、文化施設などの利便
- ・ 福祉、介護などの生活支援サービスの状況
- ・ 子育て支援サービスの状況
- ・ 親、子、親せきなどの住宅との距離
- ・ 近隣の人たちやコミュニティとの関わり

○以下の項目のなかから、あなたが最も重要と思うものを1つ、それに続いて重要と思うものを4つまで選んでください。(中高生の母以外)

○あなたの長女が独り暮らしすることを想定した場合、以下の項目のなかから、その住まいに最も重要と思うものを1つ、それに続いて重要と思うものを4つまで選んでください。(中高生の母)

<現在お住まいの住宅について>

- ・ 住宅の広さや間取り
- ・ 収納の多さ、使いやすさ
- ・ 台所、トイレ・浴室などの使いやすさ、広さ
- ・ 地震時の住宅の安全性
- ・ 台風時の住宅の安全性
- ・ 火災時の避難の安全性
- ・ 住宅の防犯性
- ・ 住宅のいたみの少なさ
- ・ 住宅の維持や管理のしやすさ
- ・ 住宅の断熱性や気密性
- ・ 冷暖房の省エネルギー性
- ・ 高齢者などへの配慮(段差がないなど)
- ・ 換気性能(臭気や煙などが残らない)
- ・ 居間など、主たる居住室の採光
- ・ 外部からの騒音に対する遮音性
- ・ 上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性
- ・ 外部からのプライバシーの確保

<現在お住まいの住宅のまわりの環境について>

- ・ 災害時の避難のしやすさ
- ・ 津波・水害の受けにくさ
- ・ 火災の延焼の防止
- ・ 治安、犯罪発生の防止
- ・ 騒音、大気汚染などの少なさ
- ・ まわりの道路の歩行時の安全性
- ・ 敷地やまわりのバリアフリー化の状況
- ・ 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり
- ・ 子どもの遊び場、公園などの充実
- ・ 緑、水辺などの自然とのふれあい
- ・ まちなみ、景観
- ・ 通勤、通学などの利便
- ・ 日常の買い物、医療、福祉、文化施設などの利便
- ・ 福祉、介護などの生活支援サービスの状況
- ・ 子育て支援サービスの状況
- ・ 親、子、親せきなどの住宅との距離
- ・ 近隣の人たちやコミュニティとの関わり

(5) 住まいの防犯に関する設問

○現在お住まいの住宅の下記の場所で、身体に対する犯罪（ちかん、暴行など）の不安を感じますか。4段階のうち当てはまるものをそれぞれ1つ選んでください。お住まいの住宅に該当の箇所がない場合は「該当箇所なし」を選んでください。（中高生の母以外）

【不安を感じる・やや不安を感じる・あまり不安を感じない・不安を感じない・該当箇所なし】

- ・ 共用出入口
- ・ 共用メールコーナー（郵便受）
- ・ エレベーターホール
- ・ エレベーター内
- ・ 共用廊下
- ・ 共用階段
- ・ 自転車置場、オートバイ置場
- ・ 駐車場
- ・ 敷地内通路
- ・ ゴミ置場
- ・ 住戸内 # 「該当箇所なし」選択不可

○現在お住まいの住宅に、下記の防犯対策は施されていますか。施されているものをお選びください。（中高生の母以外）

<共用部分>

- ・ 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置（乗り越えにくい柵や植栽など）
- ・ オートロックなど不特定多数が入れない仕組み
- ・ 建物出入り口部分の防犯カメラ
- ・ エレベーター内の防犯カメラ
- ・ エレベーター内の緊急通報ボタン
- ・ 郵便受箱の施錠装置
- ・ 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス
- ・ 共用部分の十分な照明
- ・ 共用部分に身を潜められる死角がないこと
- ・ 駐車場の防犯カメラ
- ・ 自転車やオートバイをつなぐラック
- ・ 常駐（24時間）の管理人
- ・ 日勤（日中のみ）の管理人

<専用部分（住戸内）>

- ・ 玄関扉のツーロック
- ・ 窓のツーロック（補助ロック）
- ・ 窓シャッター
- ・ 施錠したまま通風のできる窓シャッター
- ・ 施錠したまま通風のできる玄関扉
- ・ 窓の破壊を感知するセンサー
- ・ 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能無し）
- ・ 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能有り）
- ・ バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト
- ・ バルコニーのその他の侵入防止措置（柵や植栽など）
- ・ 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる緊急通報装置
- ・ 警備会社のホームセキュリティ

- ・ 浴室乾燥機または室内干しができる設備
- ・ 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し
- ・ 居住階が二階以上であること

<その他>

- ・ 女性限定の物件であること
- ・ 近隣で防犯活動が行われていること

○下記の防犯対策の必要性について、項目ごとに当てはまるものを1つ選んでください。(中高生の母以外)

○あなたの長女が独り暮らしすることを想定した場合、その住まいにおける下記の防犯対策の必要性について、項目ごとに当てはまるものを1つ選んでください。(中高生の母)

【必要である・どちらかという必要である・あまり必要でない・必要でない】

<共用部分>

- ・ 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置（乗り越えにくい柵や植栽など）
- ・ オートロックなど不特定多数が入れない仕組み
- ・ 建物出入り口部分の防犯カメラ
- ・ エレベーター内の防犯カメラ
- ・ エレベーター内の緊急通報ボタン
- ・ 郵便受箱の施錠装置
- ・ 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス
- ・ 共用部分の十分な照明
- ・ 共用部分に身を潜められる死角がないこと
- ・ 駐車場の防犯カメラ
- ・ 自転車やオートバイをつなぐラック
- ・ 常駐（24時間）の管理人
- ・ 日勤（日中のみ）の管理人

<専用部分（住戸内）>

- ・ 玄関扉のツーロック
- ・ 窓のツーロック（補助ロック）
- ・ 窓シャッター
- ・ 施錠したまま通風のできる窓シャッター
- ・ 施錠したまま通風のできる玄関扉
- ・ 窓の破壊を感知するセンサー
- ・ 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能無し）
- ・ 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン（テレビモニター機能有り）
- ・ バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト
- ・ バルコニーのその他の侵入防止措置（柵や植栽など）
- ・ 室内でボタンを押すと屋外（近隣）に異常を知らせる緊急通報装置
- ・ 警備会社のホームセキュリティ
- ・ 浴室乾燥機または室内干しができる設備
- ・ 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し
- ・ 居住階が二階以上であること

<その他>

- ・ 女性限定の物件であること
- ・ 近隣で防犯活動が行われていること

○現在お住まいの住宅、地域に対する満足度について、項目ごとに当てはまるもの1つを選んでください。(中高生の母以外)

【満足している・まあ満足している・多少不満がある・非常に不満がある】

- ・ お住まいの住宅の総合的な満足度
- ・ お住まいの地域の総合的な満足度
- ・ 共用部分における清掃などの管理状況
- ・ 共用部分の防犯性に対する満足度
- ・ 専用部分(住戸内)の防犯性に対する満足度

○現在よりも防犯性が高い物件を選ぶために、家賃がどの程度上がっても良いと考えますか。専用部分(住戸内)と共用部分に分けて回答してください。(中高生の母以外)

○あなたの長女が独り暮らしすることを想定した場合、防犯性が高い物件を選ぶために、家賃がどの程度高くなっても良いと考えますか。専用部分(住戸内)と共用部分に分けて回答してください。(中高生の母)

【例：1万5千円→15千円】

- ・ 専用部分(住戸内)の防犯性のために1か月_____千円上乘せしても良い
- ・ 共用部分の防犯性のために1か月_____千円上乘せしても良い

(6) 特別設問

○夏季、窓を開けて就寝することについて、下記のそれぞれの項目について、4段階のうち当てはまるもの1つを選んでください。(全員)

【当てはまる、やや当てはまる、あまり当てはまらない、当てはまらない】

- ・ 窓を開けたまま就寝することが多い
- ・ 窓を開けて就寝すると、エアコンを使わず経済的であると思う
- ・ 窓を開けて就寝すると、エアコンを使わず地球環境に優しいと思う
- ・ 窓を開けても暑くて（自分または家族が）寝苦しいのでエアコンを使う
- ・ 窓を開けても（自分または家族に）熱中症のおそれがあるのでエアコンを使う
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、どろぼう（空き巣など）が入らないか気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、虫が入らないか気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、外からのぞかれないか気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、汚れた空気が入らないか気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、屋外の音が気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、屋外の光が気になる
- ・ 窓を開けたまま就寝すると、雨が入らないか気になる

○個々の部屋を確保した上で、リビングなどを共用して居住するシェアハウスが近年注目されています。このシェアハウスに対する代表的な肯定的・否定的意見、居住意向について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。(単身者)

○個々の部屋を確保した上で、リビングなどを共用して居住するシェアハウスが近年注目されています。あなたの長女が独り暮らしすることを想定した場合、シェアハウスに対する代表的な肯定的・否定的意見、居住意向について、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。(中高生の母)

【そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない】

<肯定的意見>

- ・ 通常の一人暮らしより経済的に優れている
- ・ 通常の一人暮らしより地球環境に優しい
- ・ 通常の一人暮らしより防犯面で安心できる
- ・ 通常の一人暮らしより防災面で安心できる
- ・ 通常の一人暮らしより急病などの時に安心できる
- ・ 立場や考え方の違う居住者と交流できて良い

<否定的意見>

- ・ 通常の一人暮らしよりプライバシーが損なわれる
- ・ 通常の一人暮らしより友人を連れてきづらい
- ・ 他の居住者と性格が合わないリスクがある
- ・ 他の居住者とトラブルのリスクがある

<居住意向>

- ・ シェアハウスに住んでみたい／住まわせてみたいと思う
- ・ ホームシェアをしてみたい／させてみたいと思う（ホームシェアとは、一戸建て住宅で、家主の子の独立などによって空いた部屋を借りて、家主と居住すること。）

付録2 福岡県セキュリティ・アパート認定制度に関する調査結果

(1) 制度概要

(NPO 法人福岡県防犯設備士協会 HP (2014/02/12 時点) より引用、一部改変)

- ・ 主体：NPO 法人福岡県防犯設備士協会（福防設）
後援：福岡県、福岡県警察（県安全安心まちづくり条例が根拠）
- ・ 対象：新築、既築の賃貸集合住宅
- ・ 実績：21 物件（259 戸）

○背景

- ・ 福防設（1997 年発足、2007 年法人化）は、警察等が推進する地域安全活動の支援、防犯設備の普及促進、防犯意識の高揚を図り県民が安全で安心して住める町づくりに貢献することを目的とし、設立以来、住宅を対象とした数多くの防犯指導や防犯診断を行ってきた。
- ・ 活動を通じて、賃貸集合住宅は、低家賃を実現するために防犯性があまり重要視されておらず、多くの入居者が不安を感じていることが見えてきた。また、県警察によると福岡県内における建物内での性犯罪の発生は、集合住宅で多く発生していた。
- ・ そこで、住宅への侵入を伴う性犯罪や窃盗などの犯罪防止と入居者の犯罪不安を解消することを目的に、アパートやマンションなどの賃貸集合住宅を対象に防犯に関する基準を定め、一定基準を満たした物件を認定する「セキュリティ・アパート認定制度」を開始し、2010 年 9 月に第 1 号物件を認定した。

○認定までの手順

- ・ 福防設に申請を行い、認定基準への適合を確認する審査を受ける。
- ・ 申請は、図面や防犯機器等の仕様書で確認を行う「仮認定申請」と、現地調査を行う「認定申請」に分かれる。料金は、仮認定申請が 1 万 2 千円、認定申請が 2 万 8 千円である。
- ・ 審査の結果、認定基準に適合していれば、認定証と認定プレート（写真）が与えられる。認定プレートは、認定物件の共用玄関などに設置される。

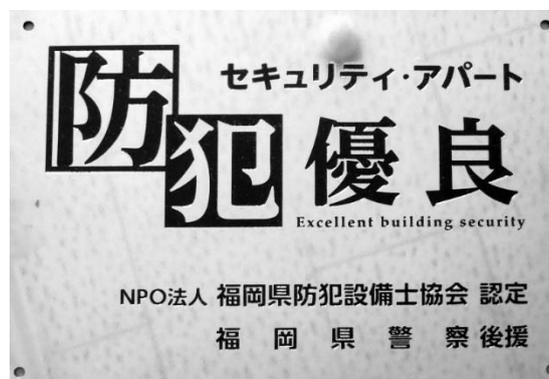


写真 認定プレート



図 認定までの手順（福防設 HP より）

(2) 審査基準 (2013/06/01 時点) と認定物件の対策実施率

実施率は、2013年8月時点で認定されていた18物件の値。空欄は必須項目(100%)。

□必須、■推奨

| 種別 | 項目 | 防犯対策 | 実施率 |
|-------------------|---------------------------------|---|------|
| 共用部分 | 1 塀、柵等 | ■外部からの見通しの確保 (構造、高さによる見通し確保) | 89% |
| | 2 配管、縦どい、外壁等 | ■足場とならない構造 | 44% |
| | | □建物 (居室) 内の異常を知らせる防犯ベル (85 デシベル以上)、又は警報ライトの設置 | |
| | 3 共用出入口 | □見通しの確保 (防犯カメラ等による補完・録画機能付き) | |
| | | ■防犯カメラの設置 (録画機能付き・評価用チャート適合) | 40% |
| | | ■インターホン、オートロックシステムの設置 (玄関扉) | 70% |
| | | ■自動施錠機能付き扉の設置 (玄関以外の出入口) | 100% |
| | | □照度の確保 (玄関内 50 ルクス以上、玄関外 20 ルクス以上) | |
| | 4 エレベーターホール | ■防犯カメラの設置 (録画機能付き・評価用チャート適合) | 67% |
| | | □照度の確保 (共用玄関階 50 ルクス以上、その他の階 20 ルクス以上) | |
| | 5 エレベーター | □防犯カメラの設置 (録画機能付き・評価用チャート適合) | |
| □緊急ボタンによる外部連絡の確保 | | | |
| □照度の確保 (50 ルクス以上) | | | |
| ■エレベーター内が見通せる窓の設置 | | 25% | |
| 6 共用廊下共用階段 | ■屋外設置階段の住棟外部からの見通しの確保 | 70% | |
| | □照度の確保 (屋内 20 ルクス以上、屋外 3 ルクス以上) | | |
| | ■階段室の常時開放 (屋内階段の場合) | 89% | |
| 7 屋上 | ■外部に異常を知らせる防犯ベル (85 デシベル以上) の設置 | 0% | |
| | □屋上出入口への施錠可能な扉の設置 | | |
| 8 自転車置場、オートバイ置場 | ■柵の設置による居室内への侵入防止 | 0% | |
| | ■防犯カメラの設置 (録画機能付き・評価用チャート適合) | 28% | |
| 9 駐車場 | ■チェーン用バーラック、サイクルラックの設置 | 78% | |
| | □照度の確保 (3 ルクス以上) (センサーライトによる補完) | | |
| | ■防犯カメラの設置 (録画機能付き・評価用チャート適合) | 38% | |
| 10 屋外通路 | □照度の確保 (3 ルクス以上) (センサーライトによる補完) | | |
| | ■施錠可能な門扉の設置 | 0% | |
| 11 ゴミ置場 | □見通しの確保 (防犯カメラによる補完・録画機能付き) | | |
| | □照度の確保 (3 ルクス以上) (センサーライトによる補完) | | |
| 11 ゴミ置場 | ■照明設備の設置 | 58% | |
| | ■塀、施錠可能な扉等による区画 | 75% | |

| | | | |
|-------|--|---|------|
| 専用部分 | 1 住居の玄関扉等 | <input type="checkbox"/> 防犯建物部品（CP部品等）の扉、枠、錠の設置 | 11% |
| | | 補完措置（以下の全てを満たせば防犯建物部品設置とみなす） <input type="checkbox"/> ドアとドア枠のすき間からカンヌキが見えない構造 <input type="checkbox"/> ピッキング解錠が困難な構造 <input type="checkbox"/> 補助錠の設置 <input type="checkbox"/> ドアチェーン又はドアガードの設置 <input type="checkbox"/> サムターン回し防止機能を備えたドアノブの設置 <input type="checkbox"/> 外部から外されにくいドアスコープの設置 | 100% |
| | | ■防犯建物部品設置の外部表示 | 11% |
| | 2 玄関 | <input type="checkbox"/> 屋外設置の防犯ベル、又はライトに連動した警報装置の設置 | |
| | | <input type="checkbox"/> 廊下、階段等からの見通しの確保 | |
| | | <input type="checkbox"/> テレビモニター機能付きインターホンの設置 | |
| | | ■自動施錠タイプの錠前 | 0% |
| | 3 住居の窓（バルコニー以外） | <input type="checkbox"/> ルーバー窓への破壊に強い構造の面格子、シャッターの設置 | |
| | | ■ルーバー窓以外の窓への面格子、シャッターの設置 | 50% |
| | | <input type="checkbox"/> 下記のA・B2項目の何れかを満たすこと | |
| | | A・窓サッシにサブロック付きクレセント及び補助錠の設置 ・ガラスへの破壊音又は窓の開閉に対応したガラスアラーム等感知装置の設置 | 100% |
| | | B・防犯合わせガラス（CPガラス）の設置。 | 41% |
| | ■防犯建物部品設置の外部表示 | 12% | |
| | 4 住居の窓（バルコニー） | <input type="checkbox"/> 下記のA・B2項目の何れかを満たすこと | |
| | | A・窓サッシにサブロック付きクレセント及び補助錠の設置 ・ガラスへの破壊音又は窓の開閉に対応したガラスアラーム等感知装置の設置 | 100% |
| | | B・防犯合わせガラス（CPガラス）の設置。 | 44% |
| | | ■防犯建物部品設置の外部表示 | 6% |
| | 5 バルコニー | ■道路からの見通しの確保 | 78% |
| | | ■階段等共有部分から侵入ができない構造の確保 | 82% |
| | 6 風呂場 | <input type="checkbox"/> 屋外設置の防犯ベル、又はライトに連動した警報装置の設置 | |
| 7 寝室 | <input type="checkbox"/> 屋外設置の防犯ベル、又はライトに連動した警報装置の設置 | | |
| 8 その他 | ■屋外防犯ベル等に連動した警報装置の各部屋への設置 | 94% | |

選択必須となっている防犯建物部品（CP部品）を使用している物件は、玄関扉 11%、バルコニー以外の窓 41%（すべて1階のみ）、バルコニーの窓 44%（1物件を除き1階のみ）だった。

推奨項目では、共用出入口の防犯カメラが 40%、オートロックが 70%だった。

(3) 居住者アンケートの結果

○調査概要

- ・ 主体： NPO 法人福岡県防犯設備士協会
- ・ 時期： 2013年11,12月
- ・ 対象： 2013年11月時点の認定物件20棟のうち、調査協力が得られた19棟の居住者
(空室も含め全239戸に配布)
- ・ 方法： 郵便受に直接配布、郵送回収
- ・ 回収数： 49

○結果の読み方

- ・ いくつかの設問は本資料のWeb調査と同一にしており、両者を比較することができる。
- ・ 集計結果の数字のうち括弧内の数字は単身女性(31名)のみの集計である。

問1. お住まいの物件はどのようにして選びましたか。(○は1つ)

| | | |
|----------------|-------|---------|
| 1. 親や親族と選んだ | 63.3% | (87.1%) |
| 2. 不動産業者に勧められた | 10.2% | (6.5%) |
| 3. 自分だけで選んだ | 26.5% | (6.5%) |

問2. お住まいの物件が、福岡県防犯設備士協会に認定された「セキュリティ・アパート」であることをご存知ですか。入居後に認定された物件の方は3か4から選んでください。(○は1つ)

| | | |
|---------------------------|-------|---------|
| 1. 入居時に知っていた | 46.9% | (48.4%) |
| 2. 入居時は知らなかったが、現在は知っている | 18.4% | (16.1%) |
| 3. 知らない | 14.3% | (3.2%) |
| 4. 入居時は認定されておらず、入居後に認定された | 20.4% | (32.3%) |

【問2で「1」を選んだ方のみ】

問2-2. 「セキュリティ・アパート」であることは入居時の判断基準になりましたか。(○は1つ)

| | | |
|--------------|-------|--------|
| 1. そう思う | 78.3% | (100%) |
| 2. ややそう思う | 17.4% | (0%) |
| 3. あまりそう思わない | 0% | (0%) |
| 4. そう思わない | 4.3% | (0%) |

【以下全員】

問3. お住まいの物件の玄関には、緊急時に屋外に知らせる警報装置が設置されています。万が一の時に警報を鳴らせるよう、来客時に留意していますか。(○は1つ)

| | | |
|-------------|-------|---------|
| 1. 常にしている | 31.3% | (41.9%) |
| 2. 大体している | 18.8% | (19.4%) |
| 3. あまりしていない | 29.2% | (32.3%) |
| 4. 全くしていない | 20.8% | (6.5%) |

問4. 現在お住まいの住宅の下記の場所で、身体に対する犯罪（ちかん、暴行など）の不安を感じますか。
4段階のうち当てはまるものをそれぞれ1つ選んで○を付けてください。
お住まいの住宅に該当の箇所がない場合は「5 該当箇所なし」を選んでください。

| | | 不安を感じる | やや不安を感じる | あまり不安を感じない | 不安を感じない | 該当箇所なし | 不安+やや不安 | |
|---|----------------|--------|----------|------------|---------|--------|---------|-------|
| | | | | | | | 全体 | 単身女性 |
| A | 共用出入口 | 2.0% | 10.2% | 22.4% | 57.1% | 8.2% | 12.2% | 9.7% |
| B | 共用メールコーナー（郵便受） | 4.1% | 2.0% | 26.5% | 55.1% | 12.2% | 6.1% | 6.5% |
| C | エレベーターホール | 2.0% | 0.0% | 8.2% | 51.0% | 38.8% | 2.0% | 0% |
| D | エレベーター内 | 2.1% | 2.1% | 8.3% | 50.0% | 37.5% | 4.2% | 3.2% |
| E | 共用廊下 | 4.1% | 0.0% | 14.3% | 69.4% | 12.2% | 4.1% | 3.2% |
| F | 共用階段 | 4.1% | 2.0% | 10.2% | 71.4% | 12.2% | 6.1% | 6.5% |
| G | 自転車置場、オートバイ置場 | 2.1% | 8.3% | 31.3% | 54.2% | 4.2% | 10.4% | 13.3% |
| H | 駐車場 | 2.0% | 12.2% | 34.7% | 49.0% | 2.0% | 14.3% | 12.9% |
| I | 敷地内通路 | 2.0% | 0.0% | 34.7% | 59.2% | 4.1% | 2.0% | 0% |
| J | ゴミ置場 | 4.2% | 4.2% | 35.4% | 52.1% | 4.2% | 8.3% | 3.2% |
| K | 住戸内 | 2.0% | 0.0% | 18.4% | 75.5% | 4.1% | 2.0% | 0% |

問5. あなたの防犯意識、近隣関係に関するA~Rの質問について、どの程度当てはまるかそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

| | | 当てはまる | やや当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 当てはまる+やや | |
|---|----------------------------|-------|---------|------------|---------|----------|-------|
| | | | | | | 全体 | 単身女性 |
| A | 在宅時でも玄関を施錠している | 77.6% | 4.1% | 12.2% | 6.1% | 81.6% | 80.6% |
| B | 外出時に窓の施錠確認をしている | 87.8% | 8.2% | 4.1% | 0.0% | 95.9% | 96.8% |
| C | 自転車を停めておく時は短時間でも施錠する | 71.4% | 12.2% | 10.2% | 6.1% | 83.7% | 87.1% |
| D | 下着を屋外に干さないようにしている | 57.1% | 12.2% | 18.4% | 12.2% | 69.4% | 61.3% |
| E | 帰宅時の解錠前に、周囲に不審者がいないか確認している | 38.8% | 20.4% | 28.6% | 12.2% | 59.2% | 64.5% |
| F | 個人情報に関する郵便物を破るなど処理して捨てている | 61.2% | 18.4% | 12.2% | 8.2% | 79.6% | 87.1% |
| G | 外出時には防犯ベル、防犯ブザーを携帯している | 22.4% | 0.0% | 6.1% | 71.4% | 22.4% | 29.0% |
| H | 来客時に、相手を確認してからドアを開ける | 77.6% | 14.3% | 4.1% | 4.1% | 91.8% | 96.8% |
| I | 地域の犯罪発生情報をチェックしている | 30.6% | 10.2% | 10.2% | 49.0% | 40.8% | 45.2% |
| J | 夜道を歩く時は、遠回りでも明るい道を選んでいる | 53.1% | 16.3% | 14.3% | 16.3% | 69.4% | 83.9% |
| K | 同じ建物の居住者とあいさつをしている | 61.2% | 28.6% | 4.1% | 6.1% | 89.8% | 90.3% |
| L | 上記以外の近隣住民とあいさつをしている | 32.7% | 10.2% | 18.4% | 38.8% | 42.9% | 45.2% |
| M | 自宅前の通路など、共用部分を掃き掃除している | 2.0% | 6.1% | 2.0% | 89.8% | 8.2% | 0% |
| N | 地域の防犯活動に参加している | 0.0% | 4.1% | 4.1% | 91.8% | 4.1% | 0% |
| O | 地域のその他の活動（清掃活動など）に参加している | 0.0% | 0.0% | 6.1% | 93.9% | 0.0% | 0% |
| P | 入居してから、自分の防犯意識は高まった | 32.7% | 40.8% | 8.2% | 18.4% | 73.5% | 90.3% |
| Q | 入居前から、自分の防犯意識は高かった | 24.5% | 16.3% | 18.4% | 40.8% | 40.8% | 25.8% |
| R | 過去の犯罪被害経験が、現住宅の選択に影響した | 0.0% | 2.0% | 10.2% | 87.8% | 2.0% | 3.2% |

問6. 下記の防犯対策の必要性について、項目ごとに当てはまるものをそれぞれ1つ選んで○を付けてください。

(1) 共用部分

| | | 大いに感じる | やや感じる | あまり感じない | 全く感じない | 大いに+やや感じる | |
|---|---|--------|-------|---------|--------|-----------|-------|
| | | | | | | 全体 | 単身女性 |
| A | 敷地内に部外者が簡単に入れないような措置 (乗り越えにくい柵や植栽など) | 42.9% | 40.8% | 14.3% | 2.0% | 83.7% | 96.8% |
| B | オートロックなど不特定多数が入れない仕組み | 71.4% | 8.2% | 16.3% | 4.1% | 79.6% | 96.8% |
| C | 建物出入り口部分の防犯カメラ | 77.6% | 12.2% | 10.2% | 0.0% | 89.8% | 96.8% |
| D | エレベーター内の防犯カメラ | 80.0% | 6.7% | 8.9% | 4.4% | 79.6% | 96.6% |
| E | エレベーター内の緊急通報ボタン | 51.1% | 31.1% | 13.3% | 4.4% | 75.5% | 86.2% |
| F | 郵便受箱の施錠装置 | 75.5% | 12.2% | 8.2% | 4.1% | 87.8% | 100% |
| G | 不在時でも荷物を受け取れる宅配ボックス | 78.7% | 10.6% | 6.4% | 4.3% | 85.7% | 96.7% |
| H | 共用部分の十分な照明 | 79.6% | 18.4% | 0.0% | 2.0% | 98.0% | 100% |
| I | 共用部分に身を潜められる死角がないこと | 75.5% | 14.3% | 10.2% | 0.0% | 89.8% | 96.8% |
| J | 駐車場の防犯カメラ | 79.6% | 14.3% | 0.0% | 6.1% | 93.9% | 96.8% |
| K | 自転車やオートバイをつなぐラック | 65.3% | 24.5% | 4.1% | 6.1% | 89.8% | 93.5% |
| L | 常駐(24時間)の管理人 | 18.4% | 30.6% | 40.8% | 10.2% | 49.0% | 51.6% |
| M | 日勤(日中のみ)の管理人 | 12.5% | 22.9% | 52.1% | 12.5% | 34.7% | 36.7% |

(2) 専用部分(住戸内)

| | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A | 玄関扉のツーロック | 49.0% | 32.7% | 16.3% | 2.0% | 81.6% | 77.4% |
| B | 窓のツーロック(補助ロック) | 44.9% | 38.8% | 14.3% | 2.0% | 83.7% | 83.9% |
| C | 窓シャッター | 28.3% | 30.4% | 30.4% | 10.9% | 55.1% | 46.7% |
| D | 通風のできる窓シャッター | 26.5% | 32.7% | 28.6% | 12.2% | 59.2% | 48.4% |
| E | 通風のできる玄関扉 | 33.3% | 18.8% | 27.1% | 20.8% | 51.0% | 38.7% |
| F | 窓の破壊を感知するセンサー | 52.1% | 33.3% | 12.5% | 2.1% | 83.7% | 93.3% |
| G | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン (テレビモニター機能無し) | 42.3% | 15.4% | 26.9% | 15.4% | 30.6% | 55.6% |
| H | 自宅玄関前の来客と通話できるインターホン (テレビモニター機能有り) | 91.8% | 6.1% | 2.0% | 0.0% | 98.0% | 100% |
| I | バルコニーからの侵入者を威嚇するセンサーライト | 38.8% | 49.0% | 8.2% | 4.1% | 87.8% | 93.5% |
| J | バルコニーのその他の侵入防止措置(柵や植栽など) | 46.9% | 44.9% | 4.1% | 4.1% | 91.8% | 96.8% |
| K | 室内でボタンを押すと屋外(近隣)に異常を知らせる緊急通報装置 | 44.9% | 42.9% | 12.2% | 0.0% | 87.8% | 96.8% |
| L | 警備会社のホームセキュリティ | 77.6% | 16.3% | 4.1% | 2.0% | 93.9% | 96.8% |
| M | 浴室乾燥機または室内干しができる設備 | 83.7% | 12.2% | 2.0% | 2.0% | 95.9% | 100% |
| N | 屋外に干した洗濯物が見えない目隠し | 77.1% | 10.4% | 8.3% | 4.2% | 85.7% | 100% |
| O | 居住階が二階以上であること | 73.5% | 14.3% | 4.1% | 8.2% | 87.8% | 96.8% |

(3) その他

| | | | | | | | |
|---|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A | 女性限定の物件であること | 43.8% | 22.9% | 20.8% | 12.5% | 65.3% | 87.1% |
| B | 近隣で防犯活動が行われていること | 50.0% | 25.0% | 10.4% | 14.6% | 73.5% | 90.3% |

問7. 現在お住まいの住宅、地域に対する満足度について、項目ごとに当てはまるものそれぞれ1つ選んで
○を付けてください。

| | | 満足 | ほぼ満足 | やや不満 | 不満 | 満足+ほぼ満足 | |
|---|----------------------|-------|-------|------|------|---------|-------|
| | | | | | | 全体 | 単身女性 |
| A | お住まいの住宅の総合的な満足度 | 65.3% | 28.6% | 4.1% | 2.0% | 93.9% | 100% |
| B | お住まいの地域の総合的な満足度 | 38.8% | 57.1% | 4.1% | 0.0% | 95.9% | 96.8% |
| C | 共用部分における清掃などの管理状況 | 61.2% | 26.5% | 8.2% | 4.1% | 87.8% | 96.8% |
| D | 共用部分の防犯性に対する満足度 | 65.3% | 30.6% | 2.0% | 2.0% | 95.9% | 100% |
| E | 専用部分（住戸内）の防犯性に対する満足度 | 65.3% | 32.7% | 0.0% | 2.0% | 98.0% | 100% |

問8. 「セキュリティ・アパート」に認定されていることの価値が家賃に含まれているとして、何円くらいの価値があると思いますか。適当な金額を入れてください。

※調査時は任意の数字を記入

| | | |
|---------------|-------|---------|
| 1) 5千円未満 | 16.7% | (13.3%) |
| 2) 5千円以上1万円未満 | 8.3% | (3.3%) |
| 3) 1万円以上2万円未満 | 31.3% | (30.0%) |
| 4) 2万円以上 | 43.8% | (53.3%) |

問9. 自宅またはその周辺において、あなたや同居の家族が、以下に示す犯罪の被害にあったことがありますか。それぞれ1つ選んで○を付けてください。

| | | | ある(1年以内) | | ある(1年より前) | |
|----------|---|--------------------------|----------|------|-----------|-------|
| | | | 全体 | 単身女性 | 全体 | 単身女性 |
| 自宅 | A | どろぼう（空き巣など）に入られた | 0% | 0% | 2.0% | 3.2% |
| | B | 自転車が盗まれた | 4.1% | 3.2% | 16.3% | 19.4% |
| | C | 自動車やオートバイが盗まれた | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | D | 自動車内の金品を盗まれた | 0% | 0% | 2.0% | 0% |
| | E | 自動車やオートバイの部品を盗まれた | 0% | 0% | 0% | 0% |
| | F | 干していた下着を盗まれた | 2.0% | 0% | 6.1% | 6.5% |
| | G | 郵便受内のものを盗まれた | 4.2% | 0% | 0% | 0% |
| | H | 自宅を人にのぞかれた | 2.0% | 3.2% | 0% | 0% |
| | I | 自宅や自動車などに落書きされたり、壊されたりした | 0% | 0% | 2.0% | 0% |
| | J | 自宅や敷地内に無断で侵入された | 0% | 0% | 4.1% | 0% |
| 自宅 周辺 | K | ひったくりにあった | 0% | 0% | 2.0% | 3.2% |
| | L | 不審者に声を掛けられた | 2.0% | 3.2% | 6.1% | 6.5% |
| | M | 不審者に待ち伏せされたりつきまとわれたりした | 0% | 0% | 4.1% | 6.5% |
| | N | 露出などの公然わいせつにあった | 2.0% | 0% | 2.0% | 3.2% |

問10. あなたの属性について、当てはまるものに○をつけたり、数字を入れたりしてください。

| | | | |
|-----------------------|------------|-------|---------|
| 年齢 | 1) ~24 歳 | 54.2% | (83.3%) |
| | 2) 25-29 歳 | 18.8% | (6.7%) |
| | 3) 30-34 歳 | 8.3% | (6.7%) |
| | 4) 35-39 歳 | 12.5% | (3.3%) |
| | 5) 40 代 | 6.3% | (0%) |
| 性別 | 1) 男性 | 20.4% | (0%) |
| | 2) 女性 | 79.6% | (100%) |
| 職業 | 1) 被雇用者 | 26.7% | (17.2%) |
| | 2) 学生 | 55.6% | (82.8%) |
| | 3) 無職 | 4.4% | (0%) |
| | 4) その他 | 13.3% | (0%) |
| 同居家族 (いくつでも○) | 1) なし | 69.4% | (100%) |
| | 2) 配偶者 | 30.6% | (0%) |
| | 3) 子供 | 16.3% | (0%) |
| | 4) その他 | 0% | (0%) |
| 所有する乗物 (いくつでも○) | 1) 自動車 | 42.9% | (16.1%) |
| | 2) オートバイ | 4.1% | (6.5%) |
| | 3) 自転車 | 75.5% | (90.3%) |
| 自治会、町内会 | 1) 加入 | 61.2% | (77.4%) |
| | 2) 未加入 | 38.8% | (22.6%) |
| 居住階 ※調査時は数字で記入 | 1) 1 階 | 20.8% | (20.0%) |
| | 2) 2 階 | 37.5% | (30.0%) |
| | 3) 3 階 | 22.9% | (23.3%) |
| | 4) 4 階以上 | 18.8% | (26.7%) |
| 入居時期 ※調査時は数字で年月を記入 | 1) 1 年未満 | 59.2% | (56.7%) |
| | 2) 2 年未満 | 14.3% | (6.7%) |
| | 3) 2 年以上 | 24.5% | (36.7%) |

(4) 福岡県宅地建物取引業協会へのヒアリング結果

日時：2013年8月8日 11:00～

場所：福岡県宅地建物取引業協会

ヒアリング対象者：協会役員4名

聞き手：福岡県警2名、福防設1名、樋野公宏

■一般論

- ・住宅の性能として防犯は求められているか。住宅に係る他の性能と比べてどうか。
 - 新築物件の場合、防犯（カメラ、インターホン等）は標準になっており差別化できない。住宅性能表示項目のような性能（耐震性等）はアパートでは重視されない。
 - 無料インターネット、浄水、バストイレ別などのニーズが高い。
 - 高齢者の見守りと防犯を合わせるなど、他の性能との合わせ技を検討してはどうか。三好不動産では、週2回のヤクルト宅配による「見守り」を行っている。
- ・一般論として、どのような属性の人が防犯性能を求めるか
 - 女性（一階は好まれない）、女子学生の親、母子家庭（ただし低所得のため家賃重視）
 - シニアからの要望は少ない（むしろ一階を好む）

■セキュリティ・アパート

- ・認定アパートの市場での評価はどうか
 - 市場で評価される段階に至っていない。
 - 福岡の認定料は安いと言うが、家主は価値を見出さないだろう。保険料割引など検討の余地があるのではないか。防犯効果を定量的に算出することも大事。
- ・「ふれんず」の検索条件にオートロック、モニタ付インターホン、防犯カメラ、防犯セキュリティがあるが、他にニーズの高い設備は何か。認定の有無は検索条件に追加し得るか。
 - オートロック、モニタ付インターホン、防犯カメラは当たり前。入れ替わり時のカギ交換は100%行っている（協会で契約内容を統一）。
 - 防犯カメラは、防犯よりもたむろや軽微ないたずらなどの対策で付けることが多い。
 - 防犯カメラを既存物件につける場合、プライバシーに関する質問は多い。標準管理規約があればよい。
 - 入れ替わり時に盗聴探査があると良い。
- ・防犯設備、さらには認定により相場家賃よりどれくらい高い賃料で貸せるか。
 - 防犯で家賃アップはできない。

■その他

- 協会会員で95%管理（他県と状況が違う）。99%が「賃貸住宅総合保険」に入っており、空き巣によるガラス破損など、住宅の修理費用は支払われる。
- 外側の防犯ベルが鳴ると近隣からの評判を下げるので家主に嫌がられるかも。
- マンションも対象なのに木造2,3階を表す「アパート」という名称は良くない。
- 営利目的の認定制度と勘ぐられる。県警の名前や公益性・非営利性を前面に出した方がよい。
- 犯罪リスクによって認定基準に地域差を付けて欲しい。
- 福岡市内に認定物件が少ないのは、アパートより高度活用したいためだろう。

以上

(5) 認定物件オーナーへのヒアリング結果

日 程：2013年11月22日

聞き手：防犯性の高い低層賃貸住宅研究会6名、東京都セキュリティ促進協力会2名、
福岡県警2名、福防設1名

| 物件概要 | 物件 A (久留米市) 1998年築、1DK 28戸 家賃 4.65-5.25万円 (管理費 3,500円) | 物件 B (春日市) 2006年築、1K, 1DK 24戸 家賃 5万円～(管理費 10,000円) ※女性限定物件 |
|--------------------------------|---|--|
| <申請前後> 申請の経緯 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の病院の看護師入居を見込み、元々気を遣っていた。女性のニーズは高く認定の価値があると判断した。 ・築年が経過し、長持ちさせなかった。 ・県警の後援制度だから申請した。 ・広報誌「防犯ふくおか」で知った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・元々、付加価値として防犯に気を遣っていた。地方の親が安心できる。具体的には浴室乾燥、1,2階のベランダ側フェンスなど。 ・新聞かテレビで見て問い合わせた。 |
| 申請段階で困った点 | <ul style="list-style-type: none"> ・改修にあたり、各戸に説明するのが大変。 | <ul style="list-style-type: none"> ・室内工事の日時調整が大変。 |
| 認定のための改修項目と費用、家賃への反映 | <ul style="list-style-type: none"> ・200万円台(予想より若干高め)。ドアホンが1.5万/戸、警報機が6.6万/戸 ・インターホンからテレビドアホンへの変更は高額(400万円)なため、玄関扉につけるドアモニターを選んだ。 ・バルコニー側両端のセンサーライトは申請に当たり2か所設置した。 ・防犯カメラは1台だったが、申請にあたり1台増設した。 ・家賃は新規入居者から2千円上げた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・室内外の警報機。ワイヤレスリモコン。EV内カメラなど数百万円。 ・一流警備会社が提案する警報設備は高額で設置出来なかった。 ・家賃は上げていない。入居者が満足してくれればいい。 |
| 基準以外の実施項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・推奨項目の防犯カメラも設置。 ・変質者が出たため、1階南角のベランダにフェンスを増設した(申請以前)。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全室にマグネットセンサー設置(基準では低層階のみ) ・コピーした鍵を挿すと抜けにくい仕組み ・エントランスに眼球虹彩認証セキュリティ導入 |
| <入居後> 居住者の声 | <ul style="list-style-type: none"> ・クレームはゼロ | <ul style="list-style-type: none"> ・入居者から、被害体験のある友人を入居させたいと希望があるが満室。 ・安心だと感謝される。 ・室内工事を行う際に何度も説明した。 |
| 居住者の認定に対する認知 一階住戸の稼働に認定が有効か | <ul style="list-style-type: none"> ・改修にあたり、各戸に説明したので認知されている。管理会社も宣伝した。 ・全体的に女性比率が高い(1:2)が、1階も女性が3/4を占める。CPフィルム、カメラ、認定の効果かもしれない。 | |
| <現在・今後> 入居率 | <ul style="list-style-type: none"> ・最大5,6戸の空きがあったが、今は28戸中1戸。防犯を含む改修のおかげ。 ・防犯をセールスポイントにした入居率向上で改修費は取り戻せそう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・24戸中1戸。セキュリティの高さが人気だと思う。 ・家賃は他の一般賃貸と比べて高めに設定しても入居率は高い。 ・加入(年間4,800円を徴収)。ただし、活動には参加しない。 ・次回は計画段階から認定を目指したい(その方が安上がり)。 |
| 居住者の自治会参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・100%(契約時に加入)。配布物等はオーナーが届ける。 | |
| 今後の物件での認定取得 | <ul style="list-style-type: none"> ・もう1棟はファミリー向けなので申請していない。単身向けならやりたい。 | |
| <その他> | <ul style="list-style-type: none"> ・カメラ画像は現地のボックスに保存するが、オーナーが自宅で閲覧可能。 ・オーナーが月に2回物件を清掃 ・改修後に泥棒の被害は無い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・食事会などによりオーナー夫妻が居住者と親しい関係 ・入居者の声で一番は警備会社のかけつけサービス |

© 建築研究資料 第156号

平成26年 2月28日 印刷・発行

編集
発行 独立行政法人建築研究所

本資料の転載・複写の問い合わせは下記まで

独立行政法人建築研究所企画部企画調査課

〒305-0802 茨城県つくば市立原1番地
電話(029) 864-2151 (代)